

省エネ・地球環境保全対策に関する提言について

— CO2 削減に向けて —

平成20年1月15日

新潟青陵大学・新潟青陵大学短期大学部

省エネ・地球環境保全タスク・フォース

(目 次)

はじめに	3
提言に寄せて	4
1. 提言のねらい・目的	
① 社会要請への対応	5
② パラダイムチェンジ	5
③ 新しいものの考え方	5
2. 課題解決の方法や仕組みの提案	
①解決策の提案と省エネ活動の事例	6
②解決ステップの提案	6
おわりに	9
(参考資料)	
①二酸化炭素年間排出量の推移 (年度別・エネルギー別)	10
②二酸化炭素年間排出量 (平成18年度、月別・エネルギー別) ...	10
③トイレ擬音装置の費用対効果調査	11
④コピー・印刷用紙の購入実績	12
⑤環境自主行動計画策定の方針 (全私学連合)	12
⑥環境自主行動計画 (全私学連合)	12
⑦環境関係図書一覧	13

はじめに

今、地球上でさまざまな異変が起きております。そして地球はさまざまなSOSを発しております。一つは、地球温暖化の問題であります。地球がだんだんと熱くなっているのです。このことは人類の未来が脅かされていることを意味します。北極圏の氷の崩落、山岳地帯の氷河の減少、海面の上昇による高潮の被害、等々はすべからず地球温暖化が影響しているのです。

二つ目は異常気象の問題であります。世界各地で大雨による洪水や台風・ハリケーンが大型化して猛威を振るっています。アメリカ特有の竜巻は、日本でも頻発するようになりました。干ばつや森林火災も異常気象がもたらしています。

これらの現象は、化石燃料を消費することによって生ずるCO₂（二酸化炭素）の温室効果ガスがもたらすものであります。また、二酸化炭素を酸素にしてくれる森林が伐採されるという熱帯雨林減少の問題も表裏一体の関係にあります。

このようにCO₂削減の問題は、緊急を要する国際社会共通の課題ともなっております。わが国においても温室効果ガスの排出の抑制を求めて、平成10年10月に地球温暖化対策の推進に関する法律を制定して、国の責務、地方公共団体の責務、事業者の責務、国民の責務を明確にいたしました。

本学にあっても温室効果ガスの排出の抑制等のための施策に協力することは、健康で文化的な生活に寄与するとともに人類の福祉に貢献することになります。私どもは省エネ・地球環境保全タスク・フォースを編成して、数次の検討を行ってまいりました。検討の結果、ここにCO₂削減の実施に関する政策を提言するに至りました。何とぞ私どもの提言にご理解とご協力を切にお願いする次第であります。

提言に寄せて

理事長 関 昭 一

教育の目的は、社会が市民に或いは企業がそのスタッフに期待する技術、知識、社会常識などを学生に身に付けさせて社会ないしは企業に貢献することにあります。更に社会のニーズを5年後、10年後と先取りする先見性があれば、より貴重なものになるでしょう。私は5年後、10年後のわが国社会でも最も期待される市民像は、「環境問題」に強いことだと思います。

今年のお正月番組のメインテーマは、「地球温暖化」でしたが、その取り上げ方は水面下に沈む珊瑚礁国家や拡大する砂漠、生息地域が狭まる希少動物などで、日本列島に差し迫った脅威はないような誤解を招くものと思われました。それは大きな誤りで、仮に10年後、20年後の新潟県が現在の九州並みの平均気温になったとすると、お米を始めとする本県農林漁業の特産物の大部分は不適地化する。保水効果に優れるぶな林の衰微は平野部の大洪水を惹起する可能性があります（治山治水計画の抜本的見直しが必要。）、エネルギー価格の高騰と相俟って大きな混乱が予想されます。そのときには当然のように環境問題に強い市民や企業人の存在が貴重となるでしょう。

私は本学園の教育目的に「環境」を高く掲げたいと考えます。「環境教育」は、知識、技術を習得させるだけでなく、“志（こころざし）”を必要とすると思います。教員だけではなく、学園の教職員のすべてとキャンパス自体が「環境問題」の“志”を体現しなくては「環境教育」は成り立ちません。その意味で私はこの提言をたいへん貴重なものと受け止め、その実現を強く期待するものです。

1. 提言のねらい・目的

① 社会要請への対応

大気中の温室効果ガスの濃度を安定化させることを目的として、平成4（1992）年の地球環境サミットで、気候変動枠組条約がわが国を含む188カ国及び欧州共同体が署名し、平成6（1994）年に発効しました。この枠組条約の目的を達成するために平成9（1997）年に京都議定書が採択されました。先進国等に対し、温室効果ガスを1990年比で、2008年～2012年に一定数値（日本6%、米国7%、EU8%）の削減を義務づけたところであります。現在152カ国及び欧州共同体が締結して京都議定書も既に発効しております。

一方において、わが国の基準年平成2（1990）年の温室効果ガス排出量は1,261百万トンCO₂で、その基準年比▲6.0%の1,186百万トンCO₂を目指すべきところを平成17（2005）年度ベースで△7.8%の1,360百万トンCO₂という状況下にあります。

政府は対策が十分進捗していないとして既存対策の確実な実施と深掘り、追加対策に乗り出しております。大学等の学校に対しても自主行動計画の推進を求めており、私学関係では全私学連合の下に環境自主行動計画を策定して平成19（2007）年度を基点にして、平成20（2008）年度から平成24（2012）年度の間において、毎年度、前年比でマイナス1%になるよう、削減のための努力をすることを決定いたしました。

この計画に呼応して、本学においても平成19（2007）年度を基点（平成20年9月竣工予定の6号館校舎を試算して織り込んだ通年ベースの数値）にして、平成20（2008）年度から平成24（2012）年度の間において、毎年度、前年比でマイナス1%になるよう、削減のための努力は当然のこととして提言いたします。

② パラダイムチェンジ

このような経緯の下に温室効果ガス排出の問題や課題に興味を反らすことはもはや許されないと云えます。また、本学の社会的責任の放棄にもなりかねないということでもあります。序文にもふれたように地球温暖化の進行は、人類の生活環境を脅かし、且つ、悪化させ、ついには人類の絶滅につながりかねないことを、教育を担う者としてこれを黙視することはできません。また、次世代を担う学生達にもそれぞれの授業をとおして環境問題の重要性を周知する必要があると云えます。現状の状況においては無為無策であったと反省せざるを得ないものがあります。

③ 新しいものの考え方

これまであまり意識しなかった温室効果ガス排出の問題や課題について、教職員自らの意思で段階的に高める努力が必要であります。また、環境への悪影響をどうやって予防し、最小限に抑えようと努力しているかが一人一人に問われる時代に入ってきたと云えます。さらに、大学単独でのゼロエミッション化や地球温

暖化効果ガスの削減などの取組みに加えて、社会全体の環境リスクを低減するための働きかけも、これからの大学に求められる環境配慮の視点であると考えられます。

2. 課題解決の方法や仕組みの提案

①省エネ・地球環境保全タスク・フォーラムで、数次の協議を重ねて意見の一致を見た「解決策の提案と省エネ活動の事例」を以下に示します。

<節電について>

- 1.冷房・暖房温度の適正化（夏28℃・冬20℃、着衣の工夫）
- 2.扇風機の併用
- 3.空き教室や研究室等のこまめな消灯
- 4.パソコン及び電化製品の電源点けっぱなしの防止
- 5.人感センサーの設置
- 6.冷房しない工夫（自然風など）
- 7.太陽光発電の導入（環境教育の促進）
- 8.節電シールの貼付

<節水について>

- 1.手洗い自動水栓の設置
- 2.擬音装置（トイレ）の設置
- 3.蛇口に節水コマを取り付け
- 4.古いトイレから節水対応トイレに改修
- 5.節水シールの貼付

<節約について>

- 1.両面印刷の促進（特に、会議文書の印刷方法の徹底）
- 2.裏紙使用（印刷室・コピー室に裏紙回収ボックスの設置）
- 3.電子メールの活用
- 4.学内配布物、出版物電子化

<有効利用について>

- 1.再生紙の利用
- 2.裁断紙（産業廃棄物）の再利用化（トイレトペーパーと交換）

<その他について>

- 1.学内キャンペーン活動の手法導入
- 2.学生参加の省エネ・地球環境保全セミナーの実施（環境教育の促進）

②解決ステップの提案

前項①の解決策の提案と省エネ活動の事例に基づく解決ステップの提案は、以下のとおりであります。

- 1.「新潟青陵大学・新潟青陵大学短期大学部省エネルギーマニュアル」（別冊）の周知徹底と提言実行への義務化を提案いたします。なお、「省エネルギーマニュアル」のサブタイトルは「地球環境（温暖化防止）と大学のために」とい

たしました。マニュアルは、省エネルギーの重要性について理解を深めるとともに、省エネルギーは我慢、制約という消極的なイメージではなく、学校や家庭等の日常生活を通して、省エネルギー型の積極的なライフスタイルを実践するような意識の醸成を図るため、学生・教職員の協力を求める内容といたしました。

2. 「学内キャンペーン活動の推進案」(別冊)を提示いたします。概要は次のとおりであります。

ACT1：温度調節で省エネ・CO2削減

ACT2：水道の使い方です省エネ・CO2削減

ACT3：自動車の使い方です省エネ・CO2削減

ACT4：商品選びです省エネ・CO2削減

ACT5：省資源とリサイクルです省エネ・CO2削減

ACT6①：電気の使い方です省エネ・CO2削減－照明設備編－

ACT6②：電気の使い方です省エネ・CO2削減－AO機器・その他の電化製品編－
省エネキャンペーン資料編

省エネキャンペーン放送アナウンス原稿 他

3. 「新潟青陵大学・新潟青陵大学短期大学部省エネルギーマニュアル」及び「学内キャンペーン活動の推進案」の他に前項①の「解決策の提案と省エネ活動の事例」にある実行可能な提案に対しては積極的な取り組みを要請いたします。

4. 全私学連合が策定した「環境自主行動計画策定方針」(参考資料⑤)及び「環境自主行動計画」(参考資料⑥)は、本学においてもこれを遵守すべき課題であります。

5. 継続的に環境問題に取り組む一つの方法として、地球環境温暖化防止国民運動「チーム・マイナス6%」に積極的に参加することが求められます。また、環境教育の推進と大学の信頼性を高めるためにも、ISO 14001の認証取得に積極的に取り組まれることを期待いたします。

6. 省エネ総括責任者の設置を提案いたします。

※ 各階火元総括責任者(正)(副)に、省エネ総括責任者(正)(副)を委嘱して棟・階別の省エネ推進員としての任務を依頼するものであります。

7. CO2 削減の達成目標及び紙使用量の目標値を以下に提示いたします。

区 分		19 年度	6 号館 影響予測	19 年度 (基点年)	20 年度 (▲ 1 %)	21 年度 (▲ 1 %)	22 年度 (▲ 1 %)	23 年度 (▲ 1 %)	24 年度 (▲ 1 %)
電気	Kwh	1,317,260	241,060	1,558,320	1,542,736	1,527,308	1,512,034	1,496,913	1,481,943
	kg-CO2	731,079	133,788	864,868	856,218	847,656	839,179	830,787	822,478
灯油	ℓ	26,900	0	26,900	26,631	26,364	26,100	25,839	25,580
	kg-CO2	66,981	0	66,981	66,311	65,646	64,989	64,339	63,694
ガス	m ³	61,600	0	61,600	60,984	60,374	59,770	59,172	58,580
	kg-CO2	128,128	0	128,128	126,847	125,578	124,322	123,078	121,846
水道	m ³	31,830	11,640	43,470	43,035	42,046	41,625	41,208	40,795
	kg-CO2	18,461	6,751	25,213	24,960	24,387	24,143	23,901	23,661
合計	kg-CO2	944,650	140,540	1,085,189	1,074,337	1,063,267	1,052,632	1,042,104	1,031,680

コピー・印刷用紙の年間使用量 実績値と目標値（達成目標）

平成15年度	2,905,500枚	
平成16年度	3,202,000枚	
平成17年度	3,235,500枚	
平成18年度	3,362,000枚	(基点年)
平成19年度	3,295,000枚	▲ 2 %
平成20年度	3,230,000枚	▲ 2 %
平成21年度	3,165,000枚	▲ 2 %
平成22年度	3,100,000枚	▲ 2 %
平成23年度	3,040,000枚	▲ 2 %
平成24年度	2,980,000枚	▲ 2 %

おわりに

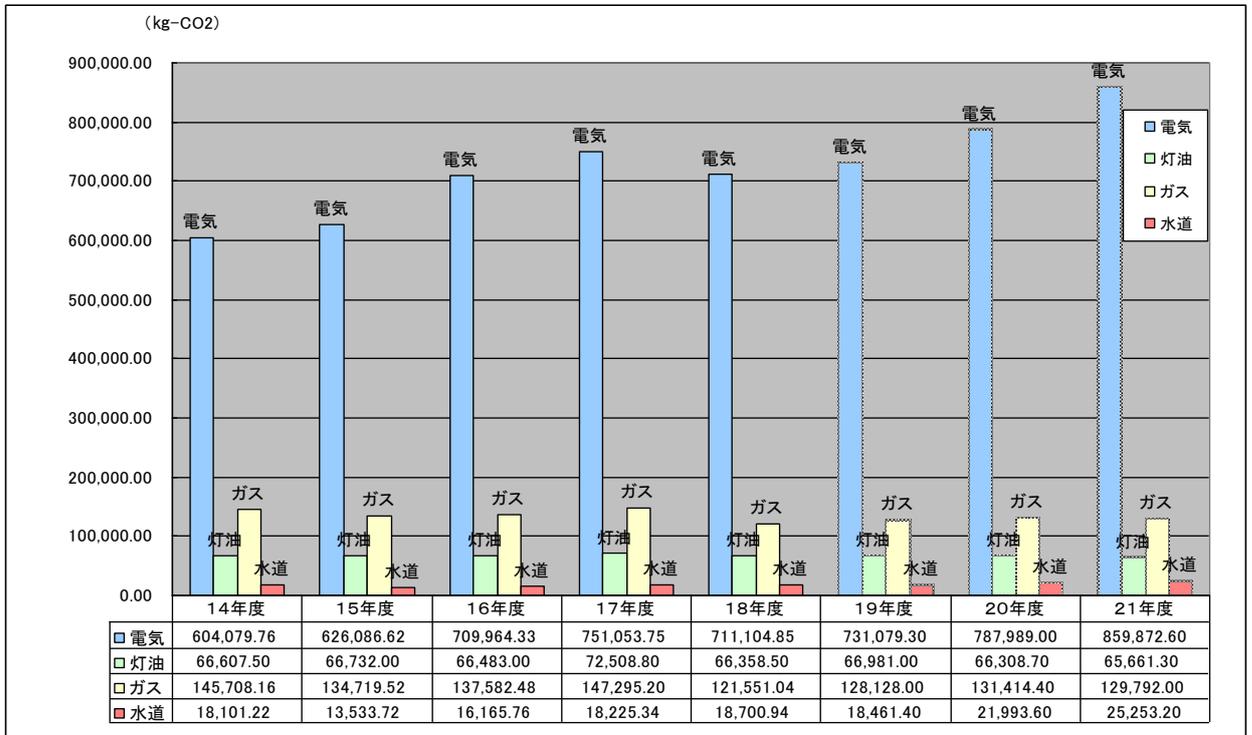
私ども省エネ・地球環境保全タスク・フォースは、省エネ・CO2削減の実施に関する政策の提言を目指して調査研究を進めてまいりました。調査研究を進めるに当たって多くの気づきを得ることができました。私どもが、省エネ・CO2削減の問題に対してあまりにも無目的、無思考で過ごしてきたこと、真剣に対峙してこなかったこと、等を真摯に反省するとともに、省エネ・CO2削減の積極的な取り組みの必要性を痛切に感じたということでもあります。

省エネ・CO2削減の積極的な取り組みは、我慢や制約を受けるという消極的なイメージではなく、省エネ・CO2削減を達成するという目標を築くことによって、毎日の生活に活力がみなぎるような新たな考えや価値観を生み出すことができるというより積極的な気づきもありました。

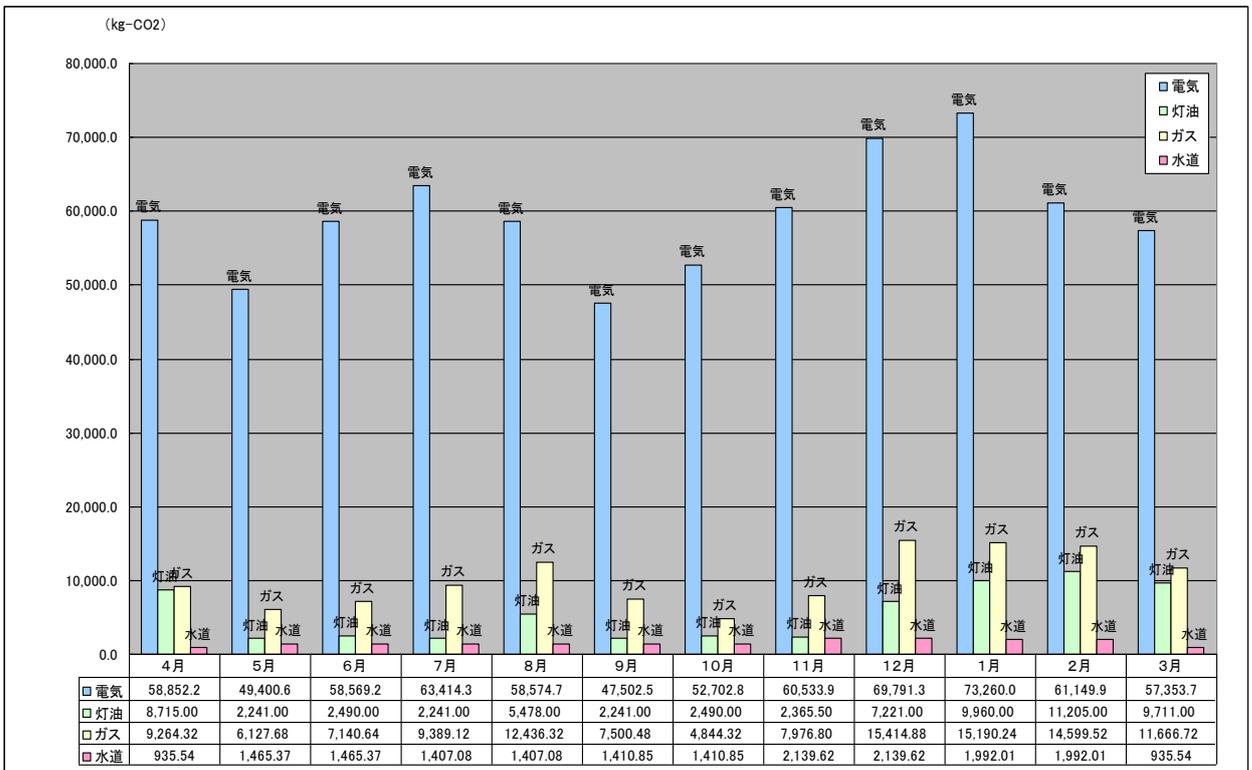
このたびのタスク・フォースの提言を是非とも教職員それぞれの行動を座標軸にのせていただき、私どもが設定した目標が着実に達成されることを希望いたします。

(参考資料)

① 二酸化炭素年間排出量の推移 (年度別・エネルギー別) ※平成19年度以降は予測値



② 二酸化炭素年間排出量 (平成18年度、月別・エネルギー別)



③トイレ擬音装置の費用対効果調査

<試算条件>

1. トイレ使用時使用水量：11ℓ～13ℓ／回
2. 1回のトイレ使用で水を流す平均回数：2.5回（メーカーの試算）
3. 一日の平均トイレ使用回数：3回
4. 女子学生数：1,431人（平成19年7月1日）
5. 学生の通学日数：166日（補講を含めた授業日数）

□擬音装置設置前の年間使用水量（1回の使用水量が11ℓの場合）

女子学生一人あたり年間使用水量：11ℓ×2.5回×3回×166日＝13,695ℓ

全女子学生の年間使用水量：13,695ℓ×1,431人＝19,597,545ℓ … a

□擬音装置設置後の年間使用水量

女子学生一人あたり年間使用水量：11ℓ×1回×3回×166日＝5,478ℓ

全女子学生の年間使用水量：5,478ℓ×1,431人＝7,839,018ℓ … b

□年間の節水量及び節水額

年間の節水量 a - b 11,758,527ℓ = 11,758 m³

年間の節水額 約2,130,000円（1 m³＝181.6円＊）

＊平成18年度の使用料と使用料金から試算した。

□擬音装置設置前の年間使用水量（1回の使用水量が13ℓの場合）

女子学生一人あたり年間使用水量：13ℓ×2.5回×3回×166日＝16,185ℓ

全女子学生の年間使用水量：16,185ℓ×1,431人＝23,160,735ℓ … a

□擬音装置設置後の年間使用水量

女子学生一人あたり年間使用水量：13ℓ×1回×3回×166日＝6,474ℓ

全女子学生の年間使用水量：6,474ℓ×1,431人＝9,264,294ℓ … b

□年間の節水量及び節水額

年間の節水量 a - b 13,896,441ℓ = 13,896 m³

年間の節水額 約2,520,000円（1 m³＝181.6円＊）

＊平成18年度の使用料と使用料金から試算した。

□擬音装置取付工事費用（100V用）

1号館	1,354,000円
2号館	490,000円
3号館	202,000円
4号館	630,000円
計	2,676,000円

④コピー・印刷用紙の購入実績

区分	15年度		16年度		17年度		18年度		
	購入量(枚)	金額(円)	購入量(枚)	金額(円)	購入量(枚)	金額(円)	購入量(枚)	金額(円)	
A4	OAペーパー	1,135,000	619,710	1,310,000	715,260	1,312,500	716,625	1,635,000	892,710
	リサイクル用紙	882,500	833,963	955,000	902,475	955,000	902,475	770,000	652,050
	小計	2,017,500	1,453,673	2,265,000	1,617,735	2,267,500	1,619,100	2,405,000	1,544,760
A3	OAペーパー	246,000	268,632	291,000	317,772	283,500	309,682	355,500	388,206
	リサイクル用紙	154,500	308,228	208,500	415,958	259,500	517,703	189,000	377,055
	小計	400,500	576,860	499,500	733,730	543,000	827,285	544,500	765,261
B5	OAペーパー	67,500	27,641	80,000	32,760	57,500	23,546	55,000	22,523
	リサイクル用紙	27,500	20,790	55,000	41,580	45,000	34,020	30,000	22,680
	小計	95,000	48,431	135,000	74,340	102,500	57,566	85,000	45,203
B4	OAペーパー	202,500	165,848	182,500	149,468	165,000	135,135	200,000	163,800
	リサイクル用紙	190,000	289,275	120,000	182,700	157,500	239,794	127,500	194,119
	小計	392,500	455,123	302,500	332,168	322,500	374,929	327,500	357,919
合計	2,905,500	2,534,087	3,202,000	2,757,973	3,235,500	2,878,880	3,362,000	2,713,143	

⑤環境自主行動計画策定の方針（全私学連合）

<方針>

地球温暖化対策という政府全体の喫緊の重要政策課題に対して、「京都議定書目標達成計画」を踏まえ、CO2排出量の削減の目標を立てて、削減に取り組むこととする。そのために、全私学連合として、私立学校におけるCO2排出量削減の目標とその対策のための“環境自主行動計画”を平成19年10月を目処に策定したうえ、CO2排出量削減に向けた各私立学校の取り組みを積極的に奨励・支援するとともに、地球温暖化対策に関する各種の啓発活動・情報提供等と、結果等のフォローアップについても行政とも協力しながら継続して行うものとする。その際には、学校種の相違はあるが、教育や研究に携わるそれぞれの特性を有効に大いに活用することにより、学校ならではの環境教育・環境保護関係研究の促進などを通じ将来にわたり地球温暖化対策で社会に大きく貢献していくことを、積極的にアピールしていくこととする。

⑥環境自主行動計画（全私学連合）

<目標>

教育や研究の内容に応じて、CO2排出量が、平成19（2007）年度を基点として、平成20（2008）年度から平成24（2012）年度の間において、毎年度、前年比でマイナス1%になるよう、削減のための努力をする。

<対策>

各私学団体は、CO2排出量削減に向けた各私立学校の取り組みを積極的に奨

励・支援するとともに、地球温暖化対策に関する各種の啓発活動・情報提供等と、結果等のフォローアップについても、行政とも協力しながら継続して行う。

私立学校は、学内の省電力化、ペーパーレス化、省エネルギー等の取り組みに加えて、教育研究を行う学校の特性を有効に活用することにより、学生生徒等に対する地球温暖化対策の必要性の啓発、大学等における環境保護技術の研究促進などを通じ、将来にわたる地球温暖化対策に大きく貢献する。

⑦環境関係図書一覧

(別冊)を参照願います。

タスク・フォース

名称：「省エネ・地球環境保全タスク・フォース」

目的：「省エネ・地球環境保全に対する本学の社会的な使命を果たすとともに経費節減の実行性のある具体的な政策提言を図ることを目的とする。」

構成員：「大谷一男、栗林克礼、井澤 新、沼 幸夫、古山智規、高野 聡、熊谷綾子、亀山美也子、金井邦子」

新潟青陵大学・新潟青陵大学短期大学部

省エネルギーマニュアル

「地球環境（温暖化防止）と大学のために」

平成20年1月15日

目 次

はじめに	2
本学のエネルギー、資源の消費について	2
1. 照明設備編	3
2. エアコン編	3
3. OA 機器編	4
4. トイレ編	4
5. 紙編	4
6. 自動車・バイクについて	5
7. 物品・商品選び購入について	5
省エネルギー行動計画	5
参考資料 「チーム・マイナス6%」	6

はじめに

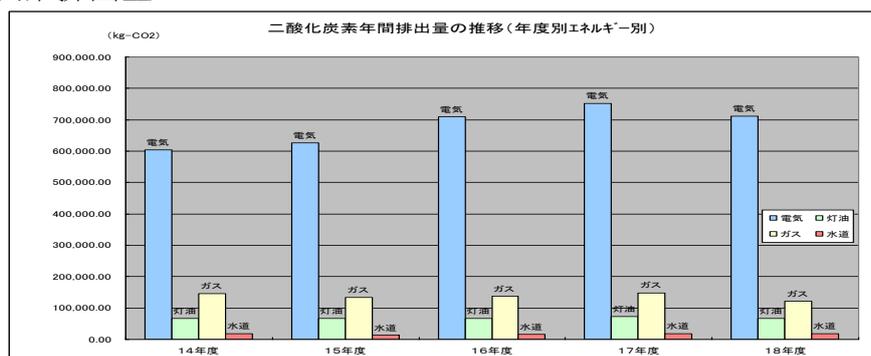
平成 17(2005)年 2 月 16 日、地球温暖化防止の施策として、「京都議定書」が発効し、日本は平成 20(2008)年から平成 24(2012)年の間に CO2 などの温室効果ガス排出量を平成 2(1990)年にくらべて 6%削減することが義務づけられました。

本学においても地球温暖化等の地球環境問題をも踏まえ省エネルギーの重要性についての理解を深め、それに向けた行動を実践する態度を身につけられるよう情報提供を充実してゆきたいと考えております。

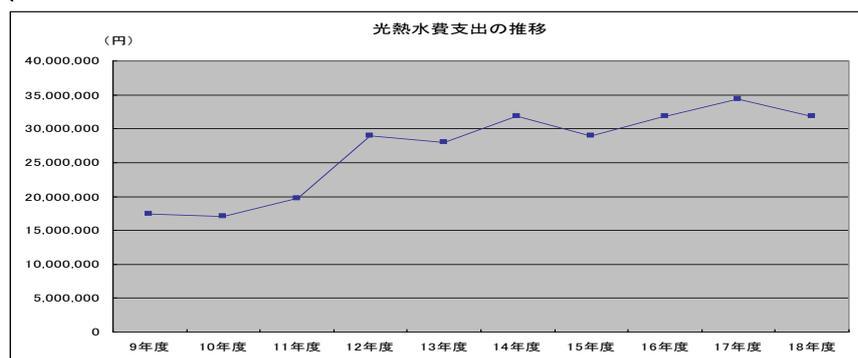
我々にとって省エネルギーが、我慢、制約という消極的イメージではなく、学校や家庭等の日常生活において、省エネルギー型の積極的なライフスタイルを実践するような意識の醸成を図るため、学生・教職員の皆様にもご協力をお願いいたします。

本学のエネルギー、資源の消費について

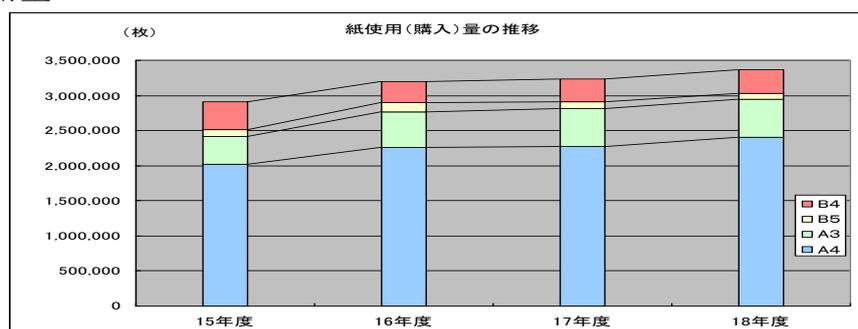
二酸化炭素排出量



光熱水費



紙の使用量



1. 照明設備編

日常の使用について

不在時は照明を消しましょう。

教室を最後に退室する人は、全ての照明を消してください。

例えばこんなことに気をつけましょう

授業の空き時間に数人で教室をつかっていませんか？

→学生ホールを利用しましょう！（5301 教室は一般家庭に約 4 軒分の面積に相当します）

授業時や会議等で研究室を不在にするとき消灯していますか？

2. エアコン（冷房・暖房ヒーター等）編

日常の使用について

不在時はエアコン（冷房・暖房ヒーター等）を止めましょう。

（授業等で研究室を不在にするときは必ず消しましょう）

教室を最後に退室する人は、エアコン（冷房・暖房ヒーター等）のスイッチを止めてください。

例えばこんなことに気をつけましょう

カーテンやブラインドで断熱効果

夏はカーテンやブラインドで窓から入る熱を遮断すると冷房効果が良くなります。冬はカーテンやブラインドをあけて日光を取り入れると暖房効果が良くなります。 *約5%の省エネ効果があります。

扇風機を併用しましょう。

床にたまりがちな冷気、天井にたまりがちな暖気を循環させると効率がよくなります。

風向きの調整をしましょう。

風向きのルーバーを冷房中は上向きに、暖房中は下向きにすると効率がよくなります。

◆設定温度は冷房は28℃、暖房は20℃をめやすに

冷房温度を1℃高め、暖房温度を1℃低めに設定すると、約10%の省エネになります。

3. OA機器・電気製品編

日常の使用について

パソコン

待機モード（省エネモード）を活用しましょう。

昼休みや会議等で席を離れる時はパソコン、プリンターの電源を切りましょう。

不在時はパソコン、プリンター及びモニター、MO ドライブ等の周辺機器の電源も切りましょう。

複写機等

昼休み、不在時は複写機（FAX 機能のないもの）の電源を切りましょう。

節電モードのある機種はそれを利用しましょう。

電気ポット等の電気製品は使用しないときは消しましょう。

4. 水・トイレ編

実験等で使用する水の無駄使いは止めましょう。

（洗浄用、冷却用、等の

擬音装置（女性トイレ）

「音消し」のために水を流すのは止め、擬音装置を使用しましょう。

（1年間で約1, 170万ℓから1, 380万ℓの節水になります。）

暖房便座

暖房便座のフタは使用后かならず閉めましょう。便座の放熱を防ぎ省エネになります。

5. 紙編

紙を無駄に使わないよう気をつけましょう。

ミスプリントを少なくするためプリントプレビューで確認してから印刷しましょう。

両面印刷・縮小・○枚アップ印刷を活用し紙の消費を減少を少なくしましょう。

ミスした用紙は裏紙用トレイへ入れましょう。

裏紙でかまわないものは、裏紙を利用しましょう。

不要になった紙はリサイクルボックスへ入れましょう。

6. 自動車・バイクの利用について

なるべく通学には公共交通機関を利用しましょう。

自動車・バイクを使用するときは「エコドライブ」を心がけましょう。

7. 物品・商品選び購入について

エコ製品を選んで買きましょう。

例えばこんなこと

電化製品は環境負荷の少ない商品を選びましょう。省消費電力、リサイクル対応品 等)

過剰包装は避けましょう。

エコバック（マイバック）を利用しましょう。

新潟青陵大学の環境自主行動計画

【6号館校舎を試算して織り込んだ通年ベースの予測数値】

区 分		19年度(基点年)	20年度(▲1%)	21年度(▲1%)	22年度(▲1%)	23年度(▲1%)	24年度(▲1%)
電気	Kwh	1,558,320	1,542,736	1,527,308	1,512,034	1,496,913	1,481,943
灯油	ℓ	26,900	26,631	26,364	26,100	25,839	25,580
ガス	m ³	61,600	60,984	60,374	59,770	59,172	58,580
水道	m ³	43,470	43,035	42,046	41,625	41,208	40,795

➤ コピー・印刷用紙の年間使用量と目標値の設定

実績値と目標値（達成目標）

平成15年度	2,905,500枚	
平成16年度	3,202,000枚	
平成17年度	3,235,500枚	
平成18年度	3,362,000枚	(基点年)
平成19年度	3,295,000枚	▲2%
平成20年度	3,230,000枚	▲2%
平成21年度	3,165,000枚	▲2%
平成22年度	3,100,000枚	▲2%
平成23年度	3,040,000枚	▲2%
平成24年度	2,980,000枚	▲2%

参考資料

「チーム・マイナス6%」とは

日本の国家目標を実現するだけでなく、将来にわたる豊かな生活環境を維持・継続させるための大規模な国民運動です。

一人ひとりが小さなアクションを起こし、大きく展開していくためには、「みんなで楽しく」行動していくことがとても重要です。様々な局面で温室効果ガスの6%削減活動に取り組む個人、企業、団体は、誰でも「チーム員」です。

政府の地球温暖化対策推進本部では、京都議定書による我が国の温室効果ガス6%削減の約束達成に向け、国民一丸となって取り組む地球温暖化防止国民運動「チーム・マイナス6%」を推進していきます。

チーム・マイナス6%の6つのアクション！

ACT1：温度調節で減らそう

冷房は28℃、暖房時の室温は20℃にしよう

ACT2：水道の使い方で減らそう

蛇口はこまめにしめよう

ACT3：自動車の使い方で減らそう

エコドライブをしよう

ACT4：商品の選び方で減らそう

エコ製品を選んで買おう

ACT5：買い物とごみで減らそう

過剰包装を断ろう

ACT6：電気の使い方で減らそう

コンセントからこまめに抜こう

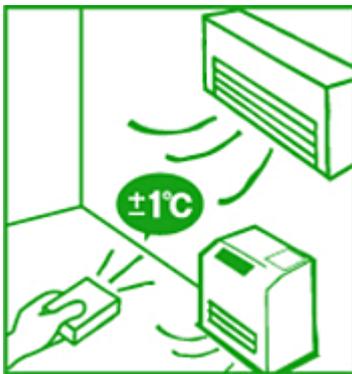
アクションプログラム

地球環境のために今、私ができること！

学校や家庭で、一人ひとりが小さなアクションを実践しよう！

1 冷房の設定温度は 28℃、暖房時の室温は 20℃にしよう

真夏にふるえ、真冬に汗をかく部屋。何かおかしい。



夏、エアコンの寒さのために体調を崩したり、冬、部屋の中で汗をかいている人がいる。そもそもおかしい話ですよね？ みんなが服装にちょっと気を使うだけで、これは解決できること。無理な節約するまでもなく、冷暖房の使用を 1℃控えるだけで、大きな削減効果が期待できます。家庭では、人がいない部屋のエアコン をこまめに止めることも大切です。会社などでは、設定温度を変えることは、ひとりではできません。まわりの人たちと一緒に、冷暖房の温度に対する意識を高めるようにしましょう。

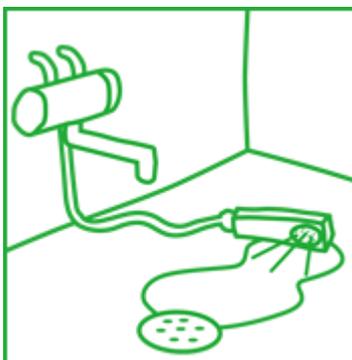


例えばこんな工夫

- ①日差しが当たる窓にはカーテンやブラインドをおろすことで、室温の上昇が抑えられます。また、せっかく冷やしたり暖めたりした空気を逃がさないように、窓やドアはきちんと閉めましょう。エアコンのフィルターの汚れも消費電力増につながります。機器のメンテナンスにも気を使いましょう。
- ②教室を学生ホール代わりに使用していませんか？
授業以外で少人数で教室を無断使用していませんか？少人数で大きな部屋の空調や電灯をしようすることは消費電力増につながります。授業以外の実習等は図書館や自習室を使用しましょう。

2 蛇口はこまめにしめよう

「シャンプー中のシャワーは止めよ」妻の指令は正しかった。



シャワーを1分間出しっ放しだと、なんと10リットルにもなるのです。家族3人なら、1家庭あたり30リットル、ペットボトル15本分のムダに。しかも、水だけでなく、ガスや電気を使ってわざわざお湯にしたものを、じゃぶじゃぶ捨てているのです。また、水道水の送水には、たくさんの電気が使われています。頭を洗っているときなど、必要のない時にはこまめにシャワーを止めること。そんな当たり前の心掛けが、地球の未来をつくっていきます。

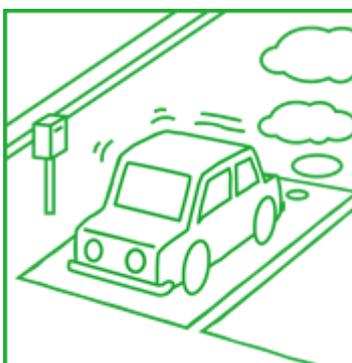


例えばこんな工夫

風呂の残り湯を洗濯に使用したり、節水効果のあるシャワーヘッドなどの機器を導入することも効果的です。実際に使用してみると、それほど不自由を感じるものではありません。ぜひ一度チャレンジしてみてください。

3 エコドライブをしよう

クルマは動かすからこそ、ガソリンはエネルギーと言う。



停車や駐車時のアイドリングを、無意識のうちにしていませんか？アイドリング時にも、ガソリンは1分あたり約0.014リットルが消費されています。1日5分のアイドリングを止めたとすると、年間20時間（240日として）。特に仕事などで車を頻繁に使われる方ほど、削減量も大きくなります。もちろんその分ガソリン代も節約に。限られた資源を、ムダなく、大切に。停車中は、エンジンをオフ。習慣づけが大切です。



例えばこんな工夫

- ①まず、エンジンの暖機から見直しましょう（最近の車はほとんど必要ないと言われています）。エンジンのオン・オフの頻度は、人の乗り降りの間や荷物の上げ下ろしなど通常の範囲でなら、バッテリーに対する影響もありません。1分以上の停止を目安に、エンジン停止を心掛けましょう。
- ②自動車、バイクの使用を控えましょう。
たとえば、通勤や通学での自動車、バイクの使用を控えたり、電車やバス等の公共交通期間を利用しましょう。運動不足解消、健康のためにも地球にやさしく、自分の体にも優しいエコ。

4 エコ製品を選んで買おう

環境を考えていない製品は、結局、人間のことを考えていない製品だ。



新しく家電製品を買うときに、ぜひ注目して欲しいのが「省エネ性能」。エアコンや冷蔵庫などは省エネ性能の表示も普及し、購入の際の目安になっています。中には、年間電気料が数万円単位で違うこともあり、特に古い機器を使い続けている場合、買い替えコストと電気代を比べてみると、愕然とする数字が出ることも。お財布にも、環境にも優しい省エネ製品。特に冷蔵庫やエアコンを買い替えの際には、忘れずにチェックしてみてください。

例えばこんな工夫

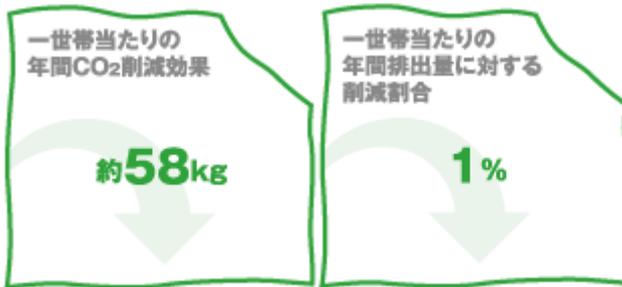
その他エコ製品は様々な分野で開発されています。ガステーブルの内炎式バーナー、ソーラー発電機器、太陽熱温水器、CO₂冷媒ヒートポンプ給湯器や家庭用潜熱回収型給湯器など。家屋の新築や改装などの際には、各分野のエコ製品を検討してみてください。

5 過剰包装を断ろう

スーパーから家までの短時間で一生を終わる袋がある。



1人が1年間で使用する手提げ袋は、なんと230枚。買い物の際には専用のバッグをひとつ用意。ふだんのお出かけの際には、小さく折りたためるバッグを常に携帯しておけば、買い物袋は不要になります。また、プラスチックのトレーなども極力避けて、ムダな包装を持ち帰らないようにしましょう。家に帰れば不要になる袋やトレーは、つくる際にも、再生・破棄する際にも、CO₂を排出しています。そろそろ自分の買い物バッグを、当たり前のことにはしませんか。

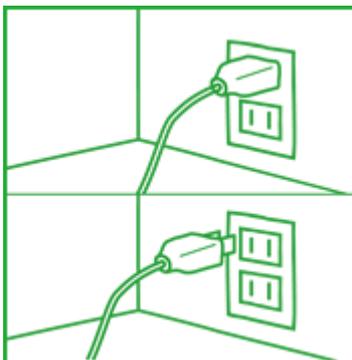


例えばこんな工夫

スーパーの一部では、買い物袋が不要であることを示すカードが用意されています。コンビニでも購入した商品が少なければ、手提げ袋が必要か聞かれることがあります。こうした取組に積極的に応えることで、少しずつ意識を変えていきましょう。

6 コンセントからこまめに抜こう

例えば、数分しか働かないレンジが丸一日、電気を食べ続けている。



電気製品を使用していないときに、タイマーなどのために消費される電力が待機電力。ビデオデッキ、オーディオコンポ、テレビ、電子レンジなどが代表的です。そしてその合計は、家庭の電力消費のなんと10%にも。ここまでいくと「少しくらい」とも言ってもらえない数字です。その対策は、使っていないときに電源プラグをコンセントから抜くこと。少し面倒ですが、まずは使用頻度の低いものからやってみましょう。スイッチ付きコンセントの活用なども便利です。



例えばこんな工夫

電気製品が集中するのは、テレビやステレオ、キッチンまわり。使うたびに抜き差しするのが面倒ならば、まずは定期的にコンセントから全部外し、次に使う時にコンセントに挿し込むようにしては。ふだん使わないものほど、抜いたままの状態になるはずです。

出典：環境省／環のくらし

<http://www.team-6.jp/>

「チーム・マイナス 6%」参加企業・団体活動規約

平成 17(2005)年 4 月 28 日制定

平成 17(2005)年 5 月 24 日改定

平成 17(2005)年 6 月 23 日改定

平成 17(2005)年 2 月 16 日、地球温暖化防止の施策として、「京都議定書」が発効し、日本は平成 20(2008)年から平成 24(2012)年の間に CO2 などの温室効果ガス排出量を平成 2(1990)年に比べて 6%削減することが義務づけられました。

そこで、政府の地球温暖化対策推進本部では、京都議定書による我が国の温室効果ガス 6%削減の約束達成に向け、国民一丸となって取り組む地球温暖化防止国民運動「チーム・マイナス 6%」を推進していきます。

「チーム・マイナス 6%」は、日本の国家目標を実現するだけでなく、将来にわたる豊かな生活環境を維持・継続させるための大規模な国民運動です。

一人ひとりが小さなアクションを起こし、大きく展開していくためには、「みんなで楽しく」行動していくことがとても重要です。様々な局面で温室効果ガスの 6%削減活動に取り組む個人、企業、団体は、誰でも「チーム員」です。

参加者それぞれが、チーム・プレイヤーであり、各企業、団体にとっては、これまでに取り組んでいる環境活動を一般の人にわかりやすく PR する機会となります。

「チーム・マイナス 6%」にご参加いただき、具体的な温室効果ガス削減活動を行っていきましょう。

■目的

1.

企業・団体活動規約（以下「本活動規約」といいます。）は、「チーム・マイナス 6%」に参加するすべての企業・団体（以下「団体チーム員」といいます。）が活動を行うにあたり遵守すべき事項を定めるものです。

■参加資格

2.

(1) 日本国内のすべての企業・団体（政治団体及び宗教法人を除きます。）は、チーム・マイナス 6%運営事務局（以下「事務局」といいます。）に対し、別記様式第 1 号の申請書を提出し、参加承認を得ることで、「チーム・マイナス 6%」に参加することができます。

(2) 申請書の記載等から「チーム・マイナス 6%」の趣旨に反することが明らかであると認められる場合には、参加が承認されないこともあります。

■活動内容

3.

団体チーム員は、「チーム・マイナス 6%」の目的を達成するために、地球温暖化防止につながる具体的な行動を計画し、特に下記の 6 つの行動に重点を置いて、実行し、見直し、改善します。

- (1) 冷房は 28℃に設定しよう（温度調節で減らそう）
- (2) 蛇口はこまめにしめよう（水道の使い方で減らそう）
- (3) エコ製品を選んで買おう（商品の選び方で減らそう）
- (4) アイドリングをなくそう（自動車の使い方で減らそう）
- (5) 過剰包装を断ろう（買い物とごみで減らそう）
- (6) コンセントからこまめに抜こう（電気の使い方で減らそう）

■ロゴマークの使用等

4.

- (1) 団体チーム員は、申請により、事務局からロゴマークの使用承認を得ることで、ロゴマークを無償で使用することができます。
- (2) 団体チーム員は、ロゴマークの使用にあたり、「チーム・マイナス6%」ロゴマーク使用規約を遵守してください。
- (3) ロゴマークの使用承認を受けた団体チーム員は、平成24(2012)年12月31日まで、ロゴマークを使用することができますが、毎年4月1日から始まる1年間を単位として承認を更新する必要があります。
- (4) 団体チーム員から、事務局に対して、電子メールによる参加とりやめの意思表示がない限り、毎年の活動報告の提出をもって、ロゴマークの使用承認は自動的に更新されます。

■活動期間

5.

団体チーム員による「チーム・マイナス6%」の活動は、平成24(2012)年12月31日までとします。

■活動報告等

6.

- (1) 団体チーム員は、毎年2月15日頃までに、前年1月1日(2005年のみ4月28日)から12月31日の活動期間における年間の活動(CO2削減行動、ロゴ使用実績等)をアンケートによりお知らせ下さい。
- (2) 団体チーム員は、事務局から要望があった場合には、適宜、アンケート調査にご協力ください。

※なお、団体チーム員の皆様をお願いするアンケートは、本事業の進捗状況の把握や来年以降の計画立案の資料収集などを目的としたものです。ご回答いただいたアンケートの内容は統計的に処理し、組織が特定されるようなかたちでの結果公表を行うことは一切ありません。

■指導等

7.

事務局は、団体チーム員またはその関係者が、次のいずれかに該当する場合、当該団体チーム員等に対し、理由をを伺った上、是正をお願いすることがあります。

- (1) 本活動規約に違反し、またはその疑いがあると認められる場合
例) ロゴマークを商品に添付し、詐欺行為を行った場合
例) ロゴマークの使用において、「チーム・マイナス6%」の主旨とは明らかに異なる場合
- (2) 「チーム・マイナス6%」ロゴマーク使用規約に違反し、またはその疑いがあると認められる場合
- (3) その他「チーム・マイナス6%」の趣旨に反する行為を行い、またはその疑いがあると認められる場合

■参加の取りやめ等

8.

- (1) 団体チーム員は、事務局に対し、電子メールで届出をすることにより、いつでも「チーム・マイナス6%」への参加を取りやめることができます。
- (2) 前項の場合においても、事務局は、団体チーム員の過去の参加に伴う活動報告等に関する情報を保有し、「チーム・マイナス6%」活動に利用することができるものとし

す。

■参加資格の取消

9.

事務局は、団体チーム員が次のいずれかに該当する場合、当該団体チーム員の参加資格を取り消すことがあります。

- (1)倒産、解散したとき
- (2)「チーム・マイナス6%」の趣旨に明らかに反するような行為を行ったと認められるとき
- (3)活動を強制したり、疑わしい行動で利益誘導を行ったと認められるとき
- (4)法令や公序良俗に反する行為をしたとき
- (5)団体チーム員が本活動規約または「チーム・マイナス6%」ロゴマーク使用規約に違反し、事務局による是正勧告に従わない場合
- (6)その他、地球温暖化対策推進本部の信用を傷つける行為を行ったと認められるとき

■規約の改訂

10.

本活動規約は、事務局により、事前の通知なく、必要に応じて改訂される場合がありますので、ご承知ください。

附 則

本活動規約は、平成17年4月28日から施行します。

チーム・マイナス6% - みんなで止めよう温暖化 - Mozilla Firefox

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) 履歴(S) ブックマーク(B) ツール(T) ヘルプ(H)

http://www.team-6.jp/ Yahoo! JAPAN

みんなで止めよう温暖化
チーム・マイナス6%

TEAM -6% HEADLINE ! 1人、1日、1kgのCO2削減! あなたのチャレンジ宣言受付中!

TEAM -6% MEMBER

CO₂削減のために一人ひとり出来ること

京都議定書で約束した6%削減目標。それを実現するための家庭でのCO₂削減目標は、年間約3,700万トン。オフィス等でのCO₂削減目標は、年間約7,300万トン。ライフスタイル・ワークスタイルを見直せば、十分達成できる数字です。

現在、国民1人あたりが排出するCO₂量は、1日平均で約6kgです。オフィスや家庭で、さまざまな温暖化防止の取組を実践し、皆さんもぜひ、1人、1日、1kgのCO₂削減を目指してください。

家庭や職場から地球を守る!
そんな意気込みでがんばりましょう。

※1kgのCO₂量とは、サッカーボール100個分の体積に相当します。

No.116 **鈴木 万由香**
東京FMパーソナリティ

●更新すると受け付け 詳細

10.12 10:15 現在

1,657,753人(個人)

15,188(団体)参加中

いますぐチーム員宣言!

Enter →

MENU

- チーム・マイナス6%について
 - Act1:温度調節で減らそう
 - Act2:水道の使い方減らそう
 - Act3:自動車の使い方減らそう
 - Act4:商品の選び方減らそう
 - Act5:買い物とごみで減らそう
 - Act6:電気の使い方減らそう
- チーム・マイナス6%とは
 - わたしたち、チーム・マイナス6%
 - あなたもチーム員宣言を!
 - 個人宣言受付
 - 法人・団体登録受付
- 地球温暖化って、どうなの?
 - スペシャルムービー
 - マイクロ先生に聞こう!
 - ストップ・ザ・温暖化たいそう
 - ピクチャーブックとおんたんかのおはなし
- チーム・マイナス6%の活動の盛り場
 - 新着情報
 - チーム員活動報告
 - 温暖化関連報道
 - 今日のエコ賞状掲載

TOPICS

めざせ! 1人、1日、1kg CO₂削減 **エコ製品買い替えキャンペーン**

めざせ! 1人、1日、1kg CO₂削減 **私のチャレンジ宣言**

めざせ! 1人、1日、1kg CO₂削減 **電球形蛍光灯の省エネ効果を解説!**

めざせ! 1人、1日、1kg CO₂削減 **まずは電球交換から**

めざせ! 1人、1日、1kg CO₂削減 **詳細はこちら**

めざせ! 1人、1日、1kg CO₂削減 **スペシャルスクール**

めざせ! 1人、1日、1kg CO₂削減 **あなたの身の周りにあるクールビズ**

めざせ! 1人、1日、1kg CO₂削減 **地球温暖化が進んだ世界をあなたは想像できますか?**

めざせ! 1人、1日、1kg CO₂削減 **はじめよう! 「うちエコ!」**

めざせ! 1人、1日、1kg CO₂削減 **衣・食・住を見直せば、一世代が一日に排出するCO₂をバランスボール50個分も削減できます! いろんな「うちエコ!」アイデアをご紹介します。**

めざせ! 1人、1日、1kg CO₂削減

CO₂削減のために一人ひとり出来ること

私のチャレンジ宣言

「1人、1日、1kg CO₂削減」応援キャンペーン協賛企業一覧

クールアース アンバサダーチャレンジ宣言

新着情報

- 「兵庫エコカーチャレンジ2007」が開催されます! (2007.10.5)
- 「モーニング娘。 “熱っちい地球を冷ますんだっ。”文化祭2007 in横浜」が開催されます! (2007.10.4)
- 環境に優しいモータースポーツ活動を提案! 「第11回関東学生対抗 チーム・マイナス6%軽自動車6時間耐久レース」開催! (2007.10.4)
- 会場で地球温暖化防止を訴求! JOC「2007オリンピックフェスティバル」開催! (2007.10.4)

PICK UP

ハロー!環境技術ロゴ

エコ製品の選択を促すロゴマークをダウンロード

CO₂クイズライブラリ

テレビCMの「CO₂クイズ」をご紹介します。

TRY! 2007

温暖化防止への

完了

あ般

CPIS KANA



学内キャンペーン活動の推進案

平成20年1月15日

新潟青陵大学・新潟青陵大学短期大学部
省エネ・地球環境保全タスク・フォース

ACT1: 温度調節で省エネ・CO2削減

○ 空調、冷暖房器具編

「冷房の温度設定は28℃、暖房時の室温は20℃にしよう」

・対象者: 学生、全教職員

・活動(案): 空調、冷暖房器具のスイッチ脇に省エネステッカーを貼り付け、啓蒙する

関連して...

・不在(不使用)時の電源OFFについて

*教室の最終退室者が空調、冷暖房器具を消すよう心掛ける

...授業終了時に教員から学生へ呼びかけてもらう

*研究室も長時間不在にする場合は空調、冷暖房器具を消すよう心掛ける

...ex.教授会開催の放送アナウンス時に研究室の空調、冷暖房器具の電源を切るよう呼びかける

・不要箇所の電源OFFについて

*使用範囲が選択できる場合は、不必要な範囲で空調、冷暖房器具を使用しない

...職員は残業時に不要な範囲の空調、冷暖房器具は使用しないように徹底する

・冷房や暖房効果を上げる工夫について

...カーテン、ブラインド、扇風機、壁面緑化等を効果的に使用する

...扉を開けっ放しにすると、冷やされた空気、温まった空気が逃げてしまうため、

可能な時間帯に、通用口ドア(4号館⇄5号館、5号館⇄3号館)に「開放禁止」の札を下げる

・担当者(案): 毎日の点検 ...使用する人が責任を持って管理する

...気がついた人が気がついたときに

...通用口については、担当者(課)が必要

キャンペーン強化期間...強化期間を設けての点検活動

...管理点検者(課)が必要

ACT2:水道の使い方です省エネ・CO2削減

○ 水道・水洗トイレ編

「蛇口はこまめにしめよう」「オトヒメを積極的に使おう」

・対象者:学生、全教職員

・活動(案):

- ・手洗い所に節水ステッカー・ポスターを貼り付け、啓蒙する
- ・トイレ内の手洗い所に節水ステッカー・ポスターを貼り付け、啓蒙する
- ・トイレ内の擬音装置付近にも使用を促すような、ステッカー等を掲示する
- ・授業時の節水について
 - *実習、実験等で使用する洗浄用水、冷却水の無駄に使わないよう心掛ける
 - …授業時に教員から学生へ呼びかけてもらう

・担当者(案):毎日の点検 …使用する人が責任を持って管理する
キャンペーン強化期間…強化期間を設けての点検活動
…点検者(課)が必要

ACT3: 自動車の使い方で省エネ・CO2削減

○ 自動車編

「エコドライブをしよう」「公共交通機関を積極的に利用しましょう」

・対象者: 全教職員

- ・活動(案):
 - ・入構証にエコドライブのススメを掲載し、啓蒙する
 - ・車で通勤している者に、公共交通機関の利用を勧める
 - …毎日は大変でも、キャンペーン強化期間や毎週〇曜日など、期間を定めて協力を求めているかどうか
 - …啓蒙ポスターを掲示する
- ・担当者(案): 毎日の点検 …使用する人(課)が責任を持って管理する
 - キャンペーン強化期間…強化期間を設けての啓蒙活動
 - …駐車場あるいは通勤車量の管理担当から呼びかけが必要か

ACT4: 商品選びで省エネ・CO2削減

○ 商品選び編 「エコ製品を選んで買おう」

- ・対象者: 学生、全教職員
- ・活動(案):
 - ・備品、消耗品の購入に関しては、グリーン商品やエコ商品を選定するよう、協力を求める
 - …グリーン購入ガイドブック、商品リストを作成し、教職員に配布する
 - ・学内外で印刷、製本をする場合は、再生紙を利用するよう、協力を求める
 - …ex. 大学ニュース、シラバス、学生便覧、決算・予算書、理事会・評議員会議事録、封筒など
 - 最良にしている印刷会社に再生紙使用を打診
 - …再生紙の古紙配合率、白色度の基準を学内で統一する
 - ・リサイクルできない商品の製作や購入、使用を避ける
 - …ex. 窓付き封筒、複写式の給与明細書(カーボン紙)、感熱紙など
 - ・生協で積極的にグリーン商品やエコ商品を販売してもらう
 - …文房具類など。または大学オリジナルエコ商品を検討
 - ・電化製品、OA機器類については、省エネ性マーク、国際エネルギースタープログラムマークの規格商品を購入するよう推進する。
 - …蛍光灯器具、テレビ、電気冷蔵庫、OA機器の購入に際して、チェック機能が必要
- ・担当者(案): 毎日の点検 … 購入、使用する人(課)が責任を持って管理する
キャンペーン強化期間 … 強化期間を設けての啓蒙活動
… 予算時に財務課からアナウンスしてはどうか

ACT5: 省資源とリサイクルで省エネ・CO2削減

○ 省資源とリサイクル編

「資源の過剰使用をやめよう」「正しいリサイクルをしよう」

・対象者: 学生、全教職員

・活動(案): 【省資源】

- ・生協での買い物にはできるだけ無包装を心掛ける ……cf. 学生便覧
- ・裏紙の使用や両面コピーを積極的に活用する
 - …印刷機やプリンター付近に、裏紙ボックスを設置
 - …印刷機付近に、両面コピーの説明書を設置
- ・WordやExcelでできる縮小印刷の方法を学内に周知する
 - …説明書を作成し配布または掲示

【リサイクル】

- ・学内における正しいゴミの分別方法を周知する
 - …ゴミの分別の仕方、捨てる場所について見直し →案内を作成、掲示する
- ・学内におけるリサイクルの徹底とリサイクル結果の公表
 - …ごみの減量化、古紙の有効活用(古紙からトイレトペーパーへ)
→案内を作成、掲示する
→古紙回収場所の見直し ※本学古紙リサイクル委託業者: 北関東通商株式会社 →資料
【現行】1号館(ごみ収集場前)、3号館(学生食堂入り口)、4号館(3階給湯室)
↓
【変更】現行の回収場所に加え、印刷室に紙分別コンテナ(裏紙用・古紙回収用)を設置
各課で裏紙利用・回収方法を検討。学生ホールにも紙分別コンテナが必要か

※新潟市では2008年6月より新ごみ減量制度がスタート

・担当者(案): 毎日の点検 ……

キャンペーン強化期間…

ACT6①: 電気の使い方由省エネ・CO2削減

○ 照明設備編

「不在時及び昼休みは照明を消しましょう」

- ・対象者: 学生、全教職員
 - ・活動(案):
 - ・照明スイッチ脇に省エネステッカーを貼り付け、啓蒙する
 - ・昼休み、休憩時間の消灯について
 - …昼休みに放送アナウンスで消灯協力のお願いをする
 - ・不在(不使用)時の消灯について
 - *教室の最終退室者が照明を消すよう心掛ける
 - …授業終了時に教員から学生へ呼びかけてもらう
 - *研究室も長時間不在にする場合は照明を消すよう心掛ける
 - …ex.教授会開催の放送アナウンス時に、研究室の消灯も呼びかける
 - *トイレについても使用時のみ照明を使用するようにする
 - …トイレの入口ドアにも、終了時の消灯を促す内容のステッカーを貼る
 - ・不要箇所の消灯について
 - *使用範囲が選択できる場合や、廊下などでは不必要な範囲で照明を使用しない
 - …職員は残業時に不要な範囲の照明は消すよう徹底する
 - ・担当者(案): 毎日の見回り…用務・夜警職員の協力を仰ぐ
 - …使用する人(課)が責任を持って管理する
 - …気がついた人が気がついたときに
- キャンペーン強化期間…強化期間を設けての点検活動
- …点検者(課)が必要

ACT6②: 電気の使い方由省エネ・CO2削減

○ OA機器・その他の電化製品編 「使用しない時は電源をOFFにしましょう」

・対象者: 全教職員

・活動(案): 【パソコン及び周辺機器】

- ・昼休み、不在時の電源OFFについて(できればコンセントを抜くところまで)
 - …昼休みに放送アナウンスで協力のお願いをする
- ・待機モード(省エネモード)の活用について
 - …学内で待機モードに切り替わる時間を統一する
 - …待機モードの設定説明書を作成し、配布することで協力を仰ぐ
 - …新規購入、設置時には初めから待機モードを設定するよう、ICCに協力してもらう

【複写機等】

- ・不使用時の電源OFFについて(できればコンセントを抜くところまで)
 - …昼休みに放送アナウンスで協力のお願いをする
- ・節電モード(省エネモード)の活用について
 - …節電モードのある機種は節電ボタン周辺にステッカーを貼るなどして、協力を仰ぐ

【その他の電化製品(ポット、電子レンジ、換気扇、テレビ、オーディオ機器など)】

- ・不使用時の電源OFFについて(できればコンセントを抜くところまで)
 - …昼休みに放送アナウンスで協力のお願いをする

・担当者(案): 毎日の点検 …使用する人(課)が責任を持って管理する
…気がついた人が気がついたときに
キャンペーン強化期間…強化期間を設けての点検活動
…点検者(課)が必要

省エネキャンペーン 資料編

省エネキャンペーン 放送アナウンス原稿

昼休み

みなさまにお知らせします。

ただいま本学では、省エネキャンペーンを実施しています。

- ・昼休みに教室やその他の施設を使用する際には無駄な電気、空調は消すように心がけましょう。また、教室を出るときは、消し忘れがないか、確認しましょう。
- ・教職員のみなさんは、長時間席を離れるときは、無駄な電気、空調を消すとともに、OA機器は電源を切るか、節電モードに切り替えましょう。また長時間使用しない電化製品があれば、コンセントを抜いて節電に努めましょう。
- ・手洗い所では、こまめに蛇口を閉め、節水を心がけましょう。

以上、節電、節水にご協力をお願いいたします。

教授会開催前

ただいまより、大学(短大)教授会を開催いたしますので、関係の先生は4331会議室までお集まりください。ご出席される先生は、研究室の照明、空調、暖房器具、OA機器、電化製品の電源を切り、節電にご協力くださいますようお願いいたします。

省エネキャンペーン 資料編

印刷室・複写機等付近掲示用ポスター一例

省資源にご協力を！

紙の節減、古紙リサイクルにご協力ください。

- 両面印刷をしましょう。
- 裏紙も利用しましょう。
メモ用紙としての利用、校正用文書としての利用、回覧文書としての利用
- コピー・印刷部数、用紙サイズを精査しましょう。
- PC縮小印刷も利用しましょう。
- 古紙は捨てずに回収箱へ

いらなくなった書類、雑誌、封筒、新聞紙・ダンボールなどは分別してリサイクルすれば、再び紙に生まれ変わる大切な資源です。

古紙類	古紙回収箱	
	○入れてよいもの	×入れてはいけないもの
古紙類	雑誌類、書類(ホッチキス留め可)、封筒、ノーカーボン紙、ダンボール、新聞紙・折り込みチラシ	感熱紙(拡大紙)、カーボン紙、窓付き封筒、写真、汚れた紙 → 燃えるごみ
	シュレッダー	
機密書類	○入れてよいもの	×入れてはいけないもの
	機密書類	感熱紙(拡大紙)、カーボン紙、窓付き封筒、写真、汚れた紙 → 焼却(事務職員へ依頼)

古紙回収場所
1号館(ごみ収集場前)、3号館(学生食堂入り口)、4号館(3階給湯室)、印刷室

両面コピーのしかた

2、 両面印刷 or 両面印刷 を得ず 両面印刷 を得ず



PC縮小印刷のしかた

簡単にできる減量(縮小)印刷にチャレンジ!
通常の印刷をする時と同様に、ファイルをクリックして入ります。
減量(縮小)印刷をするには、下記のとおり進んでください。
ワードの場合ファイル → 印刷 → 1枚あたりのページ数 → (希望のページ数を選ぶ) → [OK]、下記のコマンドの半角でんてんマーク
エクセルの場合ファイル → 印刷 → プロパティ → レイアウト → シートごとのページ → (希望のページを選ぶ) [OK]印刷 [1ページに2ページ=4ページの縮小印刷に挑戦しよう!]

省資源にご協力を！

紙の節減にご協力ください。

- 両面コピー・集約コピーをしましょう。
- コピー・印刷部数、用紙サイズを精査しましょう。

両面コピーのしかた

- 原稿を「オートフィーダー」 or 「ガラス面」にセットする
- 両面印刷 or 両面印刷 を得ず 両面印刷 を得ず

オートフィーダーの場合
①、スタートを押してコピー開始!

ガラス面の場合
①、スタートを押して原稿を読み込む
②、2枚目原稿をスタートボタンを押す
この作業を繰り返してコピーしたい原稿すべてを読み込む
③、印刷開始 を押し、設定した部数と印刷を終了する
④、スタートを押してコピー開始!

集約コピーのしかた

- 原稿をセットする前に「両面印刷」を押す
- 「集約印刷」を押す
- ページ配座を選択し、「OK」を押す
- 2の画面に現れたら「OK」を押す
- 原稿をセットし「印刷開始」を押して読み込む
全ての原稿を読み込んだら「印刷開始」を押して解除する

スタートを押してコピー開始!

省エネキャンペーン 資料編

講義室用、手洗い所、トイレ等掲示用ポスター一例



省エネ

限りある資源を大切に。



- ※ 昼休み、休憩時間は電気、空調を消しましょう。
- ※ 教室を最後に出る人は、電気、冷暖房を消しましょう。
- ※ 冷房の設定温度は、28℃に設定しましょう。
- ※ 暖房時の室温は、20℃にしましょう。

省エネ・地球環境保全タスク・フォース

節水

限りある資源を大切に。



- ※ 蛇口はこまめに止めましょう。
- ※ トイレの聲音装置を積極的に使しましょう。

省エネ・地球環境保全タスク・フォース

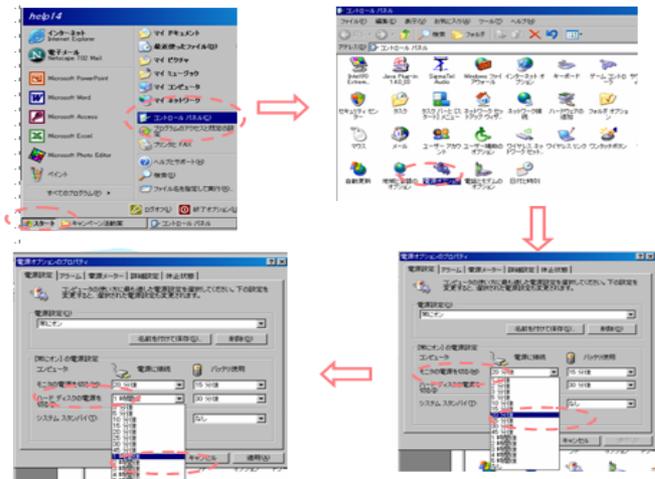
省エネキャンペーン 資料編

OA機器省エネモード、縮小、○枚アップ印刷推奨ポスター例

省エネにご協力ください

PCで節電にチャレンジ！

モニターの電源を切る時間： 分 ハードディスクの電源を切る時間： 分



PCの電源設定で省エネに努めましょう！

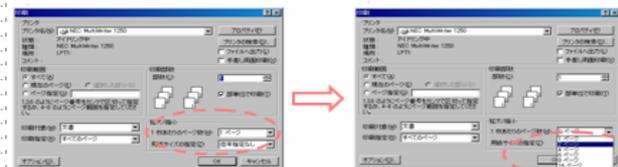
省エネ・地球環境保全タスク・フォース



省資源にご協力ください

Wordで減量印刷にチャレンジ！

印刷画面→1枚あたりのページ数→希望の数字を選択



Excelで減量印刷にチャレンジ！

印刷画面→プロパティ→レイアウト→シートごとのページ→希望の数字を選択



A4用紙1ページに2ページから4ページ印刷して、紙の減量に努めましょう！

省エネ・地球環境保全タスク・フォース



省エネキャンペーン 資料編

印刷室設置コンテナ用掲示物

裏紙BOX

積極的に裏紙を利用しましょう。

省エネ・地球環境保全タスク・フォース



古紙回収BOX

トイレトペーパーに生まれ変わります！

○入れてよいもの

雑誌類、書類(ホッチキス留め可)、封筒、
ノーカーボン紙、ダンボール、
新聞紙・折り込みチラシ

×入れてはいけないもの

感熱紙(拡大紙)、カーボン紙、 密付き
封筒、写真、汚れた紙
→燃えるごみ

省エネ・地球環境保全タスク・フォース



裏紙BOX

積極的に裏紙を利用しましょう。

省エネ・地球環境保全タスク・フォース



シュレッダーごみ

トイレトペーパーに生まれ変わります！

○入れてよいもの

機密書類

×入れてはいけないもの

感熱紙(拡大紙)、カーボン紙、 密付き
封筒、写真、汚れた紙
→焼却(用務職員へ依頼)

省エネ・地球環境保全タスク・フォース



省エネキャンペーン 資料編

エコ製品購入推奨ポスター例



エコ商品を選んで買おう。

限りある資源を大切に。

省エネ・地球環境保全タスク・フォース

- * グリーン商品、エコ商品を積極的に購入しよう。
- * 紙は古紙配合率〇〇%、白色度〇〇%のものを使用しよう。
- * 商品購入は、省エネ性マーク、国際エネルギースタープログラムマークのついたものを積極的に購入しよう。

省エネ・地球環境保全タスク・フォース

エコドライブ推奨例

証 構 入

1 - 15

所属: 職員
車両名:
登録番号:

[注意事項]
1、機内で駐車する場合は、「入構証」の表を車外から見えるよう運転席の前面に置くこと。
2、「入構証」の記載事項の変更、または不利用等の場合は、速やかに総務課へ送還すること。

エコドライブにご協力ください。
・アイドリングストップに努めて下さい。
・公共交通機関を積極的に利用しましょう。

省エネ・地球環境保全タスク・フォース

新 潟 青 陵 大 学
新 潟 青 陵 大 学 短 期 大 学 部

係 印

壁面緑化の例



花を楽しむ壁面緑化

省エネキャンペーン 資料編

ゴミ分別方法案内掲示物例(学生用)

ゴミ分別 (学生用)

ごみの分別とリサイクルについて

リサイクル可能な古紙類

雑誌類、書類（ホッチキス留め可）、封筒、ノーカーボン紙、ダンボール、新聞紙・折り込みチラシ

燃えるごみ

紙くず、古紙回収できない紙類（感熱紙（拡大紙）、カーボン紙、窓付き封筒、写真、汚れた紙）

プラスチックごみ

食品のトレイ、お菓子の袋、カップ麺の容器、発泡スチロール、ストロー、ペットボトルのキャップ

ペットボトル

ボトル

ビン・缶

飲料用、食用

生ごみ

残飯

1号館から第7ロッカーへの連絡通路

3号館学生食堂入口付近

学内で使用するトイレ
トイレットペーパーに生まれ
変わります！



1・2号館各階階段脇、
3号館1階、学生ホール、
カフェテリア

学生ホール、カフェテリア

☆飲み残したジュース、お茶類を入れたまま捨ててある紙パック、ペットボトルが目につきまます。中身は空にしてから、捨ててください。

☆ペットボトルはキャップをはずし、<ボトル>は「ペットボトル」へ、<キャップ>は「プラスチックごみ」へ入れてください。

☆回収された古紙は、学内で使用するトイレトイレットペーパーへリサイクルされます。



省エネキャンペーン 資料編

ゴミ分別方法案内掲示物例(教職員用)

ゴミ分別(教職員用)

ゴミの分別とリサイクルについて

リサイクル可能な古紙類

雑誌類、書類(ホッチキス留め可)、封筒、ノーカーボン紙、ダンボール、新聞紙・折り込みチラシ

1号館から第7ロッカーへの連絡通路
3号館学生食堂入口付近

燃えるごみ

紙くず、古紙回収できない紙類(感熱紙(拡大紙)、カーボン紙、窓付き封筒、写真、汚れた紙)

学内で使用するトイレ
レットペーパーに生まれ変わります!



プラスチックごみ

食品のトレー、お菓子の袋、カップ麺の容器、発泡スチロール、ストロー、ペットボトルのキャップ

1・2号館各階階段脇、3号館1階、学生ホール、カフェテリア

ペットボトル

ボトル

ビン・缶

飲料用、食用

生ごみ

残飯

給湯室

機密書類

古紙回収できる紙

印刷室内のシュレッダーで裁断

古紙回収できない紙(感熱紙(拡大紙)、カーボン紙、窓付き封筒、写真、汚れた紙)

用務職員に依頼して焼却

☆飲み残したジュース、お茶類を入れたまま捨ててある紙パック、ペットボトルが目につきます。中身は空にしてから、捨ててください。
☆ペットボトルはキャップをはずし、<ボトル>は「ペットボトル」へ、<キャップ>は「プラスチックごみ」へ入れてください。



省エネキャンペーン 資料編

古紙リサイクル委託業者からの案内書

オフィスの古紙もリサイクルへ!

(回収ご希望のお客様は、お電話下さい。無料です)

いらなくなった書類・新聞・雑誌・ダンボールなどの紙類—古紙は、
分別してリサイクルすれば
再び紙に生まれ変わる大切な資源です。

リサイクルすれば、一石二鳥(?)

① ゴミの減量化 → ごみ処理費用の軽減 と CO₂の発生の軽減
② 資源の有効活用 (古紙 1トンで立ち木約 20 本分) → 森林の保護

*** 古紙の分別方法 (ご協力下さい。)**

回収品目	持ち出し方
新聞・チラシ	新聞とチラシ (折り込み広告) は、混ぜても OK! * 縛るか、袋や箱に入れる等まとめておいてください。
コピー用紙	一般の書類 (ホッチキス留め可)、 OA用紙 (感熱紙は不可) * 縛るか、袋や箱に入れる等まとめておいてください。
雑誌	本、カタログ、パンフレット、ノート * 縛るか、袋や箱に入れる等まとめておいてください。
その他	伝票 (バック・カーボンのものは不可)、 封筒 (窓付きのものはビニールを除いてください)、など * 縛るか、袋や箱に入れる等まとめておいてください。
ダンボール箱	茶封筒、茶色の包み紙 * たたんで下さい。(無理に大きさを揃えたり、縛る必要はありません) 細かいものは、袋や箱に詰めてください。 発泡スチロールなどは取り除いてください。

* ファイルやハンダーで綴じた書類やパンフレットは、外してお出し下さい。金具類は取り除いてください。

* 回収できないもの (代表的なもの一例)
見本帳 (壁材や内装材の貼り付けられているもの) ・ 紙コップ ・ 油やペンキ、樹脂などが付着した段ボール
使用済みのティッシュペーパー ・ 写真 ・ トレーシングペーパー ・ シール ・ 紙織

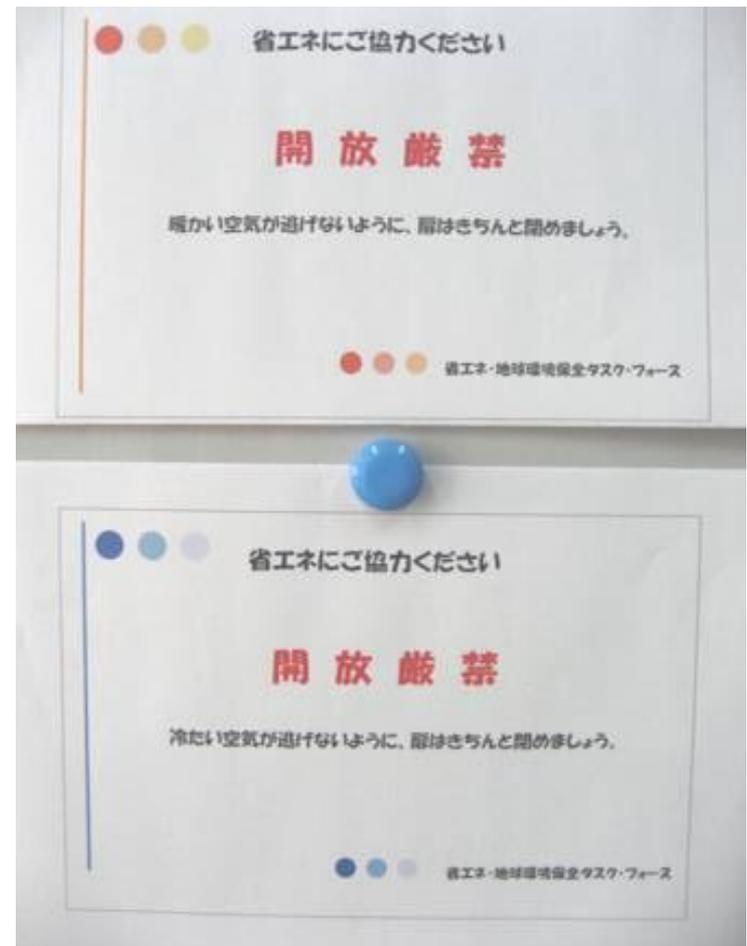
ご不明の点がありましたら
お気軽にお問い合わせ下さい。

〒950-0811 新潟市東区材木町1-27
北関東通商株式会社 新潟営業所
グリーン回収便
TEL 025-272-6301
FAX 025-272-6302



グリーン回収便は
“にいがた緑の百年物語”
に参加しています。

通用口掲示物の例



省エネキャンペーン 資料編

ステッカー一例(節電、節水等)



環境関連図書リスト（図書館所蔵）

平成20年1月15日

新潟青陵大学・新潟青陵大学短期大学部

省エネ・地球環境保全タスク・フォーラム

分野	冊数
エコロジー	24
地球環境	62
地球温暖化	13
環境学	39
環境問題	46
環境教育	9
合計	193

エコロジー（24冊）

書名	著者名	出版者	出版年	請求記号
エネルギー経済とエコロジー	室田武著	晃洋書房	2006	501.6MU
エコシフト チャーミングに世界を変える方法 講談社現代新書	マエキタミヤコ著	講談社	2006	519.04MA
もったいない	プラネット・リンク編	マガジンハウス	2005	519.8MO
菜の花エコ革命	藤井絢子菜の花プロジェクトネットワーク	創森社	2004	519NA
エコロジカル・フットプリント 地球環境持続のための実践プランニング・ツール	マティース・ワケナゲルウィリアム・リース著，池田真里訳	合同出版	2004	519WA
環境の思想家たち 上. 古代・エコロジーの思想	ジョイ・A・パルマー編，須藤自由児訳	みすず書房	2004	519.2KA
環境の思想家たち 下. 現代編 エコロジーの思想	ジョイ・A・パルマー編，須藤自由児訳	みすず書房	2004	519.2KA
エコロジーだけが経済を救う	フランツ・アルト著，村上敦訳	洋泉社	2003	330AL
自然エネルギーが地域を変える まちづくりの新しい風	佐藤由美著	学芸出版社	2003	501.6SA
エコライフ ドイツと日本どう違う	高松平藏，高松アンドレア著	化学同人	2003	519.834TA
生命の大地 アボリジニ文化とエコロジー	デボラ・B・ローズ著，保苅実訳	平凡社	2003	382.71RO
新しい環境経済政策 サステイナブル・エコノミーへの道	寺西俊一編	東洋経済新報社	2003	519.1AT

書名	著者名	出版者	出版年	請求記号
破壊されゆく地球 エコロジーの経済史 こぶしフォーラム	ジョン・ベラミー・フォスター, 渡辺景子訳	こぶし書房	2001	361.7FO
森なしには生きられない ヨーロッパ・自然美とエコロジーの文化史	J・ヘルマント編著, 山縣光晶訳	築地書館	1999	519.834HE
環境経済学概論 エコロジーと新しい経営戦略	後藤公彦著	朝倉書店	1998	331GO
エコロジー小事典 ブルーバックス	マイケル・アラビー編, 今井勝 加藤盛夫訳	講談社	1998	468.033AI
自分の暮らしがわかるエコロジー・テスト 環境問題は生活のエコ度チェックから ブルーバックス	高月紘編著	講談社	1998	519TA
生活学・生活経営 ヒューマン・エコロジー	住田和子, 有馬澄子編著	建帛社	1997	590SE
環境とエネルギー 21世紀への対策 科学のとびら25	安藤淳平著	東京化学同人	1997	519AN
自然の摂理 エコロジーの歴史 農政研究センター国際部会レポート no.31	ドナルド・ウオスター著, 小倉 武一訳 食料・農業政策研究センター編	食料・農業政策研究センター	1996	468WO
環境にやさしいライフスタイル 生活者のための社会をつくる	和田安彦 [ほか] 共著	技報堂出版	1996	519KA
環境マーケティング戦略 エコロジーとエコノミーの調和	大橋照枝著	東洋経済新報社	1994	675OH
ラディカルエコロジー 住みよい世界を求めて	キャロリン・マーチャント著, 川本隆史[ほか]訳	産業図書	1994	361.7ME
ごみリサイクル 活動事例 エコロジカル・ライフ	寄本勝美 [ほか] 編	家の光協会	1992	518.52KA

地球環境（62冊）

書名	著者名	出版者	出版年	請求記号
地球白書 2006-07 ワールドウォッチ研究所	クリストファー・フレイヴィン 編	ワールドウォッチ ジャパン	2006	519FL
ガイアの復讐	ジェームズ・ラブロック著，秋 元勇巳監修，竹村健一訳	中央公論新社	2006	519LO
これからの環境論 つくられた危機を超えて シリー ズ地球と人間の環境を考える 12	渡辺正著	日本評論社	2005	519.08SH
バイオマス 誤解と希望 シリーズ地球と人間の環境 を考える 10	奥彬著	日本評論社	2005	519.08SH
ごみ問題とライフスタイル こんな暮らしは続かな い シリーズ地球と人間の環境を考える 8	高月紘著	日本評論社	2004	519.08SH
自然再生 持続可能な生態系のために 中公新書	鷲谷いづみ著	中央公論新社	2004	519.8WA
明日の環境と人間 地球をまもる科学の知恵	川合真一郎，山本義和著	化学同人	2004	519KA
地球温暖化 埋まってきたジグソーパズル シリーズ 地球と人間の環境を考える 1	伊藤公紀著	日本評論社	2003	519.08SH
ダイオキシン 神話の終焉(おわり) シリーズ地球と 人間の環境を考える 2	渡辺正，林俊郎著	日本評論社	2003	519.08SH
酸性雨 誰が森林を傷めているのか? シリーズ地球と 人間の環境を考える 3	畠山史郎著	日本評論社	2003	519.08SH
リサイクル 回るカラクリ止まる理由(わけ) シリー ズ地球と人間の環境を考える 6	安井至著	日本評論社	2003	519.08SH

書名	著者名	出版者	出版年	請求記号
あなたが世界を変える日 12歳の少女が環境サミットで語った伝説のスピーチ	セヴァン・カリス=スズキ著, ナマケモノ倶楽部編・訳	学陽書房	2003	519CU
エネルギー 風と太陽へのソフトランディング シリーズ地球と人間の環境を考える 5	小島紀徳著	日本評論社	2003	519.08SH
地球環境ハンドブック 第2版	不破敬一郎, 森田昌敏編著	朝倉書店	2002	519.036CH
世界の環境危機地帯を往く	マーク・ハーツガード著, 忠平美幸訳	草思社	2001	519HE
新しい地球環境学	西岡秀三編	古今書院	2000	519AT
南極発・地球環境レポート 異変観測の最前線から中公新書	斎藤清明著	中央公論新社	2000	519SA
エネルギーと環境 地球環境サイエンスシリーズ 6	佐藤正知, 蛭沢重信共著	三共出版	2000	519SA
地球環境報告 岩波新書(新赤版)33	石弘之著	岩波書店	2000	519IS
地球持続の技術 岩波新書(新赤版)647	小宮山宏著	岩波書店	2000	519KO
ナショナル・トラスト 自然と歴史的環境を守る住民運動ナショナル・トラストのすべて 新版	木原啓吉著	三省堂	2000	519.8KI
地球環境報告 2 岩波新書(新赤版)592	石弘之著	岩波書店	2000	519IS
自然の権利 ちくま学芸文庫	ロデリック・F・ナッシュ著, 松野弘訳	筑摩書房	1999	519.8NA
地球環境科学	樽谷修編	朝倉書店	1999	519CH
地球環境保全ガイドブック 生産プロセスにおけるグリーンテクノロジー	フェルストナーウルヒ著, 樋口壯太郎[ほか]監訳	エヌ・ティー・エス	1999	519.8FO
自然保護ハンドブック	沼田真編	朝倉書店	1998	519.8SH

書名	著者名	出版者	出版年	請求記号
地球のすがたと環境 人間活動とのかかわり	多賀光彦, 那須淑子, 菅正彦共著	三共出版	1998	519TA
環境をはかる 地球の未来への思い	立本英機著	日刊工業新聞社	1998	519TA
環境の世紀へ 地球・市場・人間の共生	毎日新聞社 21世紀危機警告委員会編	毎日新聞社	1997	519KA
地球環境と自然保護 改訂版	東京農工大学農学部『地球環境と自然保護』編集委員会編	培風館	1997	519CH
地球の大気と環境 地球環境サイエンスシリーズ 3	田中俊逸, 竹内浩士共著	三共出版	1997	519.3TA
環境とライフスタイル 有斐閣アルマ	鳥越皓之編	有斐閣	1997	519KA
自然環境の保全 生物の目でみる	遠山益著	裳華房	1996	519.8TO
まちに自然をつくる 英国流環境保全活動実践ガイド	トラスト・フォー・アーバン・エコ自然教育研究センター訳・解説	中央法規出版	1995	519.8MA
地球を救う思想 続熊本発地球環境読本	地球環境問題研究会編	東海大学出版会	1995	519CH
地球環境経済論 下	慶応義塾大学経済学部環境プロジェクト	慶応通信	1995	519CH
環境論を批判する 世紀末の人類と地球	東京文庫編	朝日新聞社	1995	519KA
地球環境の哲人 東京大学全学自由研究ゼミナール講義録	松岡秀雄編著	ミオシン出版	1995	519MA
自然保護の法と戦略 第2版 有斐閣選書	山村恒年著	有斐閣	1994	519.8YA
地球環境を考える 夢・化学-21	渡辺正編, 石弘之[ほか]共著	丸善	1994	519CH
環境保護の夜明け アメリカの経験に学ぶ	V.B.シェファー著, 内田正夫訳	日本経済評論社	1994	519.853SC

書名	著者名	出版者	出版年	請求記号
地球大気環境問題とその対策 アジアからの視点	大気汚染研究協会編	オーム社	1993	519.3CH
どうする地球環境 一億人の化学 14	日本化学会編	大日本図書	1993	519IC
ひと目でわかる地球環境データブック	地球環境データブック編集委員会	オーム社	1993	519HI
地球にやさしい化学 生物と共存する環境をめざして	寺田弘〔ほか〕著	化学同人	1993	519TE
地球と環境教育 環境教育シリーズ 4	藤原英司責任編集	東海大学出版会	1993	519CH
明日の環境と人間 地球をまもる科学の知恵	川合真一郎, 山本義和著	化学同人	1993	519KA
環境ビジネス 地球にやさしい企業戦略	日経産業新聞編	日本経済新聞社	1993	519KA
地域環境の新構築 地球時代の環境づくりと資源リサイクル 市町村アカデミーかえる叢書 vol.5		ぎょうせい	1993	519CH
生活の科学と地球の環境	管野善則著	開成出版	1992	519KA
一つの地球一つの未来	米国科学アカデミー編, 富永健訳	東京化学同人	1992	519HI
地球環境診断 CO2 抑制 4 枚のカルテ	岡本和人著	イーアールシー出版	1992	519OK
環境百科 危機のエンサイクロペディア	市川定夫〔ほか〕編	駿河台出版社	1992	519KA
地球環境の危機 研究の現状と課題	内嶋善兵衛編	岩波書店	1991	519CH
地球環境シミュレーション 環境シミュレーションシリーズ	横山長之総合編集	白亜書房	1991	519CH
講座「地球環境」2 地球規模の環境問題	橋本道夫〔ほか〕編	中央法規出版	1990	519CH
講座「地球環境」3 地球環境と経済	橋本道夫〔ほか〕編	中央法規出版	1990	519CH

書名	著者名	出版者	出版年	請求記号
講座「地球環境」1 地球規模の環境問題	橋本道夫[ほか]編	中央法規出版	1990	519CH
地球環境論 人間と自然との新しい関係	和田武著	創元社	1990	519WA
講座「地球環境」4 地球環境と政治	橋本道夫[ほか]編	中央法規出版	1990	519CH
講座「地球環境」5 地球環境と市民	橋本道夫[ほか]編	中央法規出版	1990	519CH
地球環境とエネルギー	OECD 国際エネルギー機関著 日本開発銀行地球環境問題研究会	電力新報社	1990	519CH

地球温暖化（13冊）

書名	著者名	出版者	出版年	請求記号
不都合な真実 切迫する地球温暖化、そして私たちに できること	アル・ゴア著, 枝廣淳子訳	ランダムハウス講 談社	2007	451.85GO
不都合な真実 地球温暖化の危機：ECO 入門編	アル・ゴア著, 枝廣淳子訳	ランダムハウス講 談社	2007	451.85GO
地球温暖化サバイバルハンドブック	デビッド・デ・ロスチャイル ド著, 枝廣淳子, 特別翻訳チー ム訳	ランダムハウス講 談社	2007	519DE
コレラが街にやってくる 本当はコワイ地球温暖 化	藤田紘一郎著	朝日新聞社	2002	493.8FU
地球温暖化を防ぐ 20 世紀型経済システムの転換 岩 波新書(新赤版)529	佐和隆光著	岩波書店	2000	501.6SA

書名	著者名	出版者	出版年	請求記号
地球温暖化を考える 岩波新書(新赤版)403	宇沢弘文著	岩波書店	2000	519UZ
地球温暖化と日本 自然・人への影響予測	西岡秀三, 原沢英夫編著	古今書院	1998	451.35CH
新・地球環境論 持続可能な未来をめざして	和田武著	創元社	1997	519WA
地球温暖化とその影響 生態系・農業・人間社会 ホビ ュラー・サイエンス	内嶋善兵衛著	裳華房	1996	451.85UC
温暖化する地球・日本の取り組み 『気候変動に関する 国際連合枠組条約』に基づく日本国報告	環境庁地球環境部編	大蔵省印刷局	1994	451.35ON
地球と都市の温暖化 人類は地球の危機を救えるか?	斎藤武雄著	森北出版	1992	451.35SA
地球温暖化を防ぐ NHK ブックス 599	環境庁「地球温暖化問題研究会」	日本放送出版協会	1990	451.35CH
地球温暖化による社会影響 米国 EPA レポート抄訳	地球温暖化影響研究会編	技報堂出版	1990	451.35CH

環境学 (39冊)

書名	著者名	出版者	出版年	請求記号
環境六法 平成 19 年版	環境法令研究会編	中央法規出版	2007	519.12KA
ドイツ環境史 19 世紀と 20 世紀における自然と人間の 共生の歴史	フランツ=ヨセフ・ブリュックゲ トーマス・ロンメルスパッハー 編, 平井旭訳	リーベル出版	2007	519.234DO
環境・循環型社会白書 平成 19 年版	環境省編	ぎょうせい	2007	519.1KA
環境白書 平成 18 年版	環境省編	ぎょうせい	2006	519.1KA

書名	著者名	出版者	出版年	請求記号
アジアにおける環境政策と社会変動 産業化・民主化・グローバル化 研究双書	寺尾忠能, 大塚健司編	アジア経済研究所	2005	519.1AJ
中国の環境政策生態移民 緑の大地、内モンゴルの砂漠化を防げるか? 地球研叢書	小長谷有紀, シンジルト, 中尾正義編	昭和堂	2005	519.1CH
新・環境倫理学のすすめ 丸善ライブラリー	加藤尚武著	丸善	2005	519KA
環境史年表 昭和・平成	下川耿史編	河出書房新社	2004	519.21032KA
世界の環境の歴史 生命共同体における人間の役割 明石ライブラリー	ドナルド・ヒューズ著, 奥田暁子, あべのぞみ訳	明石書店	2004	519.2HU
アメリカの環境主義 環境思想の歴史的アンソロジー	R.F.ナッシュ編著, 栗栖聡[ほか]共訳	同友館	2004	519.853NA
環境保全への政策統合 5 岩波講座環境経済・政策学	寺西俊一, 細田衛士	岩波書店	2003	519.08IW
やさしい環境科学 新版	保田仁資著	化学同人	2003	519YA
環境政策の基礎 3 岩波講座環境経済・政策学	植田和弘, 森田恒幸	岩波書店	2003	519.08IW
環境の評価とマネジメント 8 岩波講座環境経済・政策学	吉田文和, 北島能房	岩波書店	2003	519.08IW
循環型社会の制度と政策 7 岩波講座環境経済・政策学	細田衛士, 室田武	岩波書店	2003	519.08IW
環境リスクマネジメントハンドブック	中西準子[ほか]編集	朝倉書店	2003	519.15036KA
環境ホルモン 人心を「攪乱」した物質 シリーズ地球と人間の環境を考える 4	西川洋三著	日本評論社	2003	519.08SH
環境運動と新しい公共圏 環境社会学のパーспекティブ	長谷川公一著	有斐閣	2003	519HA

書名	著者名	出版者	出版年	請求記号
環境史年表 明治・大正	下川耿史編	河出書房新社	2003	519.21032KA
環境革命の時代 21世紀の環境概論	地球環境戦略研究機関編	東京書籍	2002	519.2KA
新潟から考える環境倫理 3 ブックレット新潟大学	栗原隆著	新潟日報事業社	2002	519KU
OECD 世界環境白書 2020年の展望 OECD 叢書	OECD 環境局著環境省地球環境局監訳	中央経済社	2002	519.1OE
OECD レポート 日本の環境政策 新版	OECD 編環境省総合環境政策局	中央法規出版	2002	519.1OE
環境の経済理論 1 岩波講座環境経済・政策学	佐和隆光, 植田和弘	岩波書店	2002	519.08IW
20世紀の日本環境史	産業環境管理協会編集	産業環境管理協会	2002	519.21NI
環境と開発 2 岩波講座環境経済・政策学	吉田文和, 宮本憲一	岩波書店	2002	519.08IW
地球環境問題とグローバル・コミュニティ 6 岩波講座環境経済・政策学	森田恒幸, 天野明弘	岩波書店	2002	519.08IW
環境保全と公共政策 4 岩波講座環境経済・政策学	寺西俊一, 石弘光	岩波書店	2002	519.08IW
緑の世界史 上 朝日選書	クライブ・ポンティング著石弘之京都大学環境史研究会訳	朝日新聞社	2001	519.2PO
共感する環境学 地域の人びとに学ぶ シリーズ「環境・エコロジー・人間」	嘉田由紀子, 植田劭, 山田國廣編著	ミネルヴァ書房	2000	519KY
環境報告書ガイドブック	太田昭和センチュリー編著國部克彦森下研監修	東洋経済新報社	2000	519.13KA
緑の世界史 下 朝日選書	クライブ・ポンティング著, 石弘之, 京都大学環境史研究会訳	朝日新聞社	2000	519.2PO
環境科学要論 現状そして未来を考える	世良力著	東京化学同人	1999	519SE
ISO14000 環境マネジメント便覧	日本規格協会	日本規格協会	1999	519.13IS

書名	著者名	出版者	出版年	請求記号
環境科学の基本 新しいパラダイムは生まれるか シリーズ・環境を考える	塚谷恒雄著	化学同人	1997	519TS
展望 21 世紀の人と環境	北大環境科学研究会編	三共出版	1996	519TE
環境学 第2版 遺伝子破壊から地球規模の環境破壊まで	市川定夫著	藤原書店	1994	519IC
環境学のすすめ 上 21 世紀を生きぬくために Save our planet series	市川定夫著	藤原書店	1994	519IC
環境学のすすめ 下 21 世紀を生きぬくために Save our planet series	市川定夫著	藤原書店	1994	519IC

環境問題（46冊）

書名	著者名	出版者	出版年	請求記号
手にとるように環境問題がわかる本	三菱UFJリサーチ&コンサルティング環境エネルギー部著	かんき出版	2007	519TE
世界の環境問題 第2巻	川名英之著	緑風出版	2007	519.2SE
人はどのような環境問題解決を望むのか 社会的ジレンマからのアプローチ	大沼進著	ナカニシヤ出版	2007	519ON
自然保護の神話と現実 アフリカ熱帯降雨林からの報告	ジョン・F・オーツ著, 浦本昌紀訳	緑風出版	2006	519.844OA
権利と価値 リーディングス環境 第2巻	淡路剛久[ほか]編	有斐閣	2006	519RI

書名	著者名	出版者	出版年	請求記号
スウェーデンに学ぶ「持続可能な社会」 安心と安全の国づくりとは何か 朝日選書	小澤徳太郎著	朝日新聞社	2006	519.1OZ
法・経済・政策 リーディングス環境 第4巻	淡路剛久[ほか]編	有斐閣	2006	519RI
持続可能な発展 リーディングス環境 第5巻	淡路剛久[ほか]編	有斐閣	2006	519RI
自然と人間 リーディングス環境 第1巻	淡路剛久[ほか]編	有斐閣	2005	519RI
生活と運動 リーディングス環境 第3巻	淡路剛久[ほか]編	有斐閣	2005	519RI
世界の環境問題 第1巻	川名英之著	緑風出版	2005	519.2SE
環境と生命	及川紀久雄編著, 北野大[ほか]共著	三共出版	2004	519KA
環境問題資料集成 6	日本科学者会議編	旬報社	2003	519.08KA
環境問題資料集成 7	日本科学者会議編	旬報社	2003	519.08KA
環境問題資料集成 8	日本科学者会議編	旬報社	2003	519.08KA
環境問題資料集成 13	日本科学者会議編	旬報社	2003	519.08KA
環境問題の「ほんとう」を考える	山下正和著	化学同人	2003	519YA
地球環境問題とリサイクル 地球環境にやさしいものとはなにか	掛本道子著	東京教学社	2003	519KA
環境問題資料集成 9	日本科学者会議編	旬報社	2003	519.08KA
環境問題資料集成 10	日本科学者会議編	旬報社	2003	519.08KA
環境問題資料集成 14	日本科学者会議編	旬報社	2003	519.08KA
持続可能なヒューマン・エコデザイン ビオシティ		ビオシティ	2003	519.05JI
環境問題資料集成 索引	日本科学者会議編	旬報社	2003	519.08KA
環境問題資料集成 3	日本科学者会議編	旬報社	2003	519.08KA

書名	著者名	出版者	出版年	請求記号
環境問題資料集成 4	日本科学者会議編	旬報社	2003	519.08KA
環境問題資料集成 5	日本科学者会議編	旬報社	2003	519.08KA
入門環境汚染のトキシコロジー	S.F.Zakrzewski 著, 古賀実篠原 亮太松野康二訳	化学同人	2002	519ZA
明日の環境と人間 地球をまもる科学の知恵	川合真一郎, 山本義和著	化学同人	2002	519KA
入門環境経済学 環境問題解決へのアプローチ 中公 新書	日引聡, 有村俊秀著	中央公論新社	2002	519HI
環境学講義 環境対策の光と影	瀬戸昌之著	岩波書店	2002	519SE
環境問題資料集成 1	日本科学者会議編	旬報社	2002	519.08KA
環境問題資料集成 2	日本科学者会議編	旬報社	2002	519.08KA
環境問題資料集成 11	日本科学者会議編	旬報社	2002	519.08KA
環境問題資料集成 12	日本科学者会議編	旬報社	2002	519.08KA
奪われし未来 増補改訂版	シーア・コルボーン	翔泳社	2002	519CO
環境問題情報事典 第2版	日外アソシエーツ[編]	日外アソシエーツ	2001	519KA
フライブルク環境レポート Symbooks	今泉みね子著	中央法規出版	2001	519.834IM
写真で見る環境問題	長谷川三雄著	成文堂	2001	519HA
酸性雨 岩波新書(新赤版)230	石弘之著	岩波書店	2000	519.3IS
地球環境問題とは何か 岩波新書(新赤版)331	米本昌平著	岩波書店	2000	519YO
ゼロエミッションと日本経済 岩波新書(新赤版)491	三橋規宏著	岩波書店	2000	519.21MI
中国で環境問題にとりくむ 岩波新書(新赤版)690	定方正毅著	岩波書店	2000	519.222SA
アメリカの環境保護運動 岩波新書(新赤版)142	岡島成行著	岩波書店	1999	519.253OK

書名	著者名	出版者	出版年	請求記号
地球は救えるか 1 熱帯雨林消滅・国境を越える公害 NHK スペシャル「シリーズ 21 世紀」	NHK 取材班著	日本放送出版協会	1990	519CH
地球は救えるか 2 温暖化防止へのシナリオ NHK スペシャル「シリーズ 21 世紀」	NHK 取材班著	日本放送出版協会	1990	519CH
酸性化する地球 NHK ブックス 597	広瀬弘忠著	日本放送出版協会	1990	519HI

環境教育（9冊）

書名	著者名	出版者	出版年	請求記号
誰でもできるエネルギー環境教育入門 教師修行双 書 5	有田和正著	明治図書	2007	375AR
自然をまもる みんなで守ろう環境!シリーズ 1	ジェン・グリーン作, マイク・ゴ ードン絵, 北沢杏子, 文林千根訳	アーニ出版	2003	519MI
ゴミをわける みんなで守ろう環境!シリーズ 2	ジェン・グリーン作, マイク・ゴ ードン絵, 北沢杏子, 文林千根訳	アーニ出版	2003	519MI
エネルギーのせつやく みんなで守ろう環境!シリー ズ 3	ジェン・グリーン作, マイク・ゴ ードン絵, 北沢杏子, 文林千根訳	アーニ出版	2003	519MI
水をたいせつに みんなで守ろう環境!シリーズ 4	ジェン・グリーン作, マイク・ゴ ードン絵, 北沢杏子, 文林千根訳	アーニ出版	2003	519MI
環境が大学を元気にする 学生がとった ISO14001	三橋規宏著	海象社	2003	377.1MI
環境科学教授法の研究	高村泰雄, 丸山博著	北海道大学図書刊 行会	1998	519TA

書名	著者名	出版者	出版年	請求記号
科学と環境教育 環境教育シリーズ 5	松前達郎責任編集	東海大学出版会	1993	519KA
子どもと環境教育 環境教育シリーズ 1	阿部治責任編集	東海大学出版会	1993	519KO